

ちよつといい話

4



瑞浪市

## 『ちよっといい話』を手に入れた皆さんへ



『ちよっといい話』には、皆さんが毎日の暮らしの中で見つけた「小さいけれどキラキラ光る宝物」がいっぱい詰まっています。

私たちの毎日は、楽しい日ばかりではありません。悲しい日や腹が立つ日、学校や仕事に行きたくない日もあるでしょう。しかし、周りをぐるりと見渡せば、人と人との温かなつながりが私たちを支え、時として私たちの生活に「小さいけれどキラキラ光る宝物」をプレゼントしてくれていることがわかります。

『ちよっといい話』は、誰かの笑顔や思いやりがあなたの「なんでもない日」を「特別な日」に変えてくれること、そしてあなたにも誰かの「今日」を「特別な日」に変える力があることを教えてくれます。

「私たちは、お互いにお互いの毎日を嬉しくしたり、楽しくしたりし合って生活していること」を思い返すきっかけとなるように、『ちよっといい話』を読み終わった時には、ぜひ、周りの人たちにも貸してあげてください。

ページの都合上、届いたお話のすべてを紹介することはできませんが、私たちの暮らし瑞浪市で、こんなにもたくさんの方の『ちよっといい話』が生まれていることを教えてください。641人の皆さんに深く感謝します。

# もくじ

◆ 一 般 編	◆ 高 校 編	◆ 中 学 校 編	◆ 小 学 校 編
……… 75	……… 59	……… 37	……… 1

## 「表紙のイラスト」

瑞浪小学校  
多治見工業高等学校  
1年  
有賀千穂さん

6年  
有賀咲穂さん

# 小学校編



✿ あいさつでニコニコ笑顔	.....	1
✿ 「ありがとう」で心ポカポカ	.....	3
✿ やったね。ほめられた	.....	6
✿ そうじの時間	.....	7
✿ 手伝ってくれた・教えてくれた	.....	8
✿ 友だちっていいな	.....	9
✿ 「がんばって」で	.....	17
パワーが出た！	.....	17
✿ 心配してくれてありがとう	.....	18
✿ 家族っていいな	.....	20
✿ がんばった運動会	.....	26
✿ クラブでいっしょうけんめい	.....	29
✿ うれしい出来事	.....	31



## こんな感想が寄せられました ①



・この度は『ちょっといい話』に載せて頂きまして有難う御座いました。この本との出会いは「2」からですが、どなたのお話も目の前に光景が浮かびます。とても心が温かくなり、ホッとしたり、思わず微笑んだりと忙しく、楽しい本。いっぱいドラマがあって…。次回もまた楽しみにしています。感謝を込めて！！

### エピソードが掲載された女性

・土岐町の有志が集まって土岐小学校で読み聞かせボランティアをしています。今までは土岐町の歴史などを読んでいましたが、これからは『ちょっといい話』を読み聞かせようと思います。

### 土岐町読み聞かせボランティア

## おぼあちゃんにニコニコ笑顔

▽私のちよつといい話は、毎朝のことです。

私が学校へ出かける時、いつもおぼあちゃんが家の坂の下まで来てくれて、ニコニコ笑顔で「いつてらっしゃい。」と送ってくれます。私はすごくねむいのにおぼあちゃんは目をパツチリあけてニコニコ笑顔で送ってくれます。私はおぼあちゃんが大好きなので、おぼあちゃんのニコニコ笑顔を見るとすごくうれしくなってパワーが出てきます。

小6・女子

▽私が、学校から下校するときでした。いつもいっしょに帰っているYさんがいなかったのので、一人で帰りました。帰っているとちゆうに友だちのAちゃんが「いっしょに帰ろ。」と言いました。私はとてもうれしかったです。そしてAちゃんと帰っているときにAちゃんは通りかかる人に「こんにちは。」と笑顔であいさつをしていました。私は「すごいな。」と思ったので「こんにちは。」と言ってみました。すると相手の人も「こんにちは。元気だね。」と言ってくれました。「次の日の朝の登校でたくさんあいさつしよう。」と思いました。登校のとき、通りかかる人たちにあいさつをしました。とつてもさわやかな登校になりました。

小4・女子

▽あさ、おきると、おかあさんがおで「おはよう。」と言ってくれます。ぼくもえがおで「おはよう。」と言うと、とてもきもちがいいあさをむかえられます。

小1・男子

▽私が学校から帰る途中のことです。2人のおばあさんが歩いていました。2人に「こんにちは。」とあいさつをしたら、「えらいねえ。しつかりしてるねえ。」とほめてもらいました。いつもの様  
にあいさつをしただけなのに、こんなにほめてもらったのは、初めてと言っていいほどです。私  
はすごくうれしかったです。あいさつをもっともつとがんばろうと思いました。

小6・女子

▽朝、学校に来て教室に着くと、「Kちゃんおはよう！」とMさんが元気な明るい声で笑顔でい  
つもあいさつしてくれるので、朝からこんなあいさつをされてうれしいし、私もMさんを見習っ  
て元気なあいさつができるようにしたいです。

小6・女子



## ★「ありがとう」で心ホカホカ

▽学校が6時間じゆぎょうの時、お母さんがしごとだったので「帰ってきたら、せんとく物を入れて、ごはんをたいておいて。」と言われました。帰ってきてせんとく物を入れて、ごはんをたいて、べんきようしておわってちよつとしたら、お母さんが帰ってきました。「せんとく物を入れて、ごはんもたいといたよ。」と言ったら、お母さんが「ありがとう。」と言ってくれました。わたしはお母さんにたのまれたことをちゃんとやっておいてよかったなあと思いました。こんどたのまれた時もちゃんとやりたいです。

### 小3・女子

▽電車に乗っていた時です。私たち3人で席にすわっていると、にんぷさんとお年よりの方が乗ってきました。にんぷさんもお年よりの方もすぐくえらそうだったので「席をどうぞ。」とゆずってあげました。そうしたらどちらの方も「ありがとう。」と心温まる声を返してくださいだったのでゆずってあげてよかったなあと思いました。

### 小4・女子

▽私が、友だちと遊んだあと、むかえに来てくれる母のもとへ行く途中、一人のおばあさんが買い物かごを落としてしまつて買った物を全部ぶちまけてしまっていました。私が自転車をとめ、いっしょにひろってあげたら、とってもよい笑顔で「ありがとう。」と言ってくれました。私はとってもとってもうれしかったです。

### 小5・女子



▽流しそうめんをしている時、私が小さい子のめんどうを見ていたら、その子のお母さんや私のお母さんが「めんどうを見てくれてありがとうね！」と言ってくれた。とてもうれしかったです。

#### 小6・女子

▽ぼくのおばあちゃんがうでをけがしている時、ふとんしきや皿を洗ったりしてあげました。「ありがとう。」と言ってくれたので、これからはしつかり手伝います。

#### 小6・男子

▽外食をする時に、席があいていなくて、おばあさんが困っていました。その時、私は、おばあさんに「この席どうぞ。」と言ったら「とてもやさしい子やね。ありがとう。」と言われてとてもうれしくて心があつたかくなりました。

#### 小5・女子

▽ちいきのおじさんのりょうさんにあうと、ぜったいなにかをくれます。キャラメルやあめやチョココレートをいっぱいくれます。とてもうれしかったです。わたしも手づくりのクッキーをつくってあげました。「ありがとう。」と言ってくれてうれしくなりました。そうしたら「ちよつとまってね。」と言われました。まっていたら、シールつきのキャラメルをくれました。「ありがとう。」と言ってかえりました。ありがたいなと思いました。

#### 小2・女子

▽おうちでおかあさんが、よるごはんのしたくをしているときに、おとうがおかあさんにくつついて、おろすとないちやうので、わたしがおとうといっしょにわであそんであげました。するとおかあさんが「ありがとう。」と言ってくれました。うれしかったです。まためんどろをみたいと思いました。

小2・女子

▽私が、祭りに行った時、まだ小さい女の子が迷子になって泣いていたので、お母さんをいっしょにさがしてあげたら見つかりました。そうしたらそのお母さんが「ありがとう。」と言ってくれました。また、女の子も「お姉ちゃんありがとう。」と泣きながらお礼を言ってくれてうれしかったです。

小6・女子



## おやっただね。ほめられた

▽わたしが3年生の時の話です。わたしが食器デザインに入選した時に、お母さんとおじいちゃん、おばあちゃんといっしょに食器を見に行ったら、おばあちゃんが「すごくじょうずだね。」とほめてくれました。とてもうれしかったです。きねんにお母さんが食器の写真をとってくれました。とても心が温かくなりました。

小4・女子

▽ぼくは音楽のじかん、3びょうしのリズムうちをしていました。なかなかむずかしくてまちがえてしまいます。できたと思つてCDに合わせると、はやさについていけません。それでもあきらめずに手がいたくなるまでれんしゅうしました。帰りの会するとき、友だちがよいところを見つけて、ぼくががんばっていたことを話してくれました。はずかしかつたけれど、ぼくのよいところを見つけてほめてくれたのでうれしかったです。

小2・男子

▽ぼくはサッカーの大会で、しょうじょうをもらつて、おとうさんやおかあさんに見せたら「すごいね。」と言つてほめてくれました。おじいちゃんもおばあちゃんもよろこんでくれました。ぼくの練習のせいかが出たと思います。これからもがんばりたいです。

小3・男子



## おまじの時間

▽そうじのペアのおにいさんはとてもやさしくて「こうやってやるんだよ。」とかいろいろなことをおしえてくれたり、うまくできたときはほめてくれてうれしいし、ちよつとダメなときは「ダメだよ。」とか言ってくれます。うれしいです。そういうおにいさんが大スキです。やさしく言ったり、うれしいことばをつかってくれます。おにいさんはしっかりしていてやさしいです。

小2・男子

▽一学期、ぼくがはじめてそうじをしたとき、ふわふわのブラシかちくちくのブラシかまよっていたら、そうじのペアの5年生のお兄さんが「ふわふわのブラシのほうがやりやすいよ。」と言ってくれました。そしてふわふわのブラシでやったらやりやすかったです。教えてもらえてうれしかったです。

小2・男子

▽そうじのペアのおねえさんが、わたしがやっていたことでダメだと思ったら、すぐにちゅういしてくれれます。ペアはすごくやさしいです。わたしはちゅういしてくれるのはわたしのことをよく見ていてくれるからだと思います。

小2・女子



## お手伝ってくれた・教えてくれた

▽わたしは、学校の授業で算数が苦手でした。だからなかなか次の問題にすすめません。4年生の時から算数が苦手で分からなくて泣いていたこともありました。そうしたら友だちや先生などいろんな人が「だいじょうぶ、泣かないで。」とはげましてくれました。友だちや先生、みんなは私が分かりやすいように最後までていねいに教えてくれました。私はみんなが教えてくれたおかげで少し自信がきました。それからだんだん手を挙げたり、すらすらと問題がとけるようになり、ついには分からない子に教えられるようにもなりました。私はその時、とても心があつたかくなりました。友だちや先生、みんなのおかげで私は一步ふみだせたと思います。次は分からない子がいた時に少しでも教えられるようにがんばりたいし、泣いてしまっている子でもすぐに助けられるように、これからもがんばりたいです。ありがとう。

小5・女子

▽ある日、ぼくたち教室そうじ係はいそいでいました。なぜかという、まだつくえやいすをもとにもどしていなかったからです。そしておわりの音楽が鳴ってしまいました。しかたなくはんせいかいをおえて、教室へ帰ったら、そうじをおえた同じ学年の人たちが「大じょうぶ？」「手伝ってあげるよ。」と言ってくれました。とつてもうれしかったです。ぼくはこのことをわすれないし、みんなにめいわくをかけずに自分でやらなきゃいけないことはきちんとせきにんをもつてがんばりたいです。

小4・男子

▽マレットゴルフで、わたしたちのまえにやっていたおじさんが「こうやってやるといいよ。」とおしえてくれました。わたしたちがうったら「いいねえ、じょうずやよ。」とほめてくれました。わたしはうれしかったです。

小1・女子

▽私が算数でなやんでいる時に、となりの子が「ここはこうやってやればできるよ。」や「これはこっちの方がやりやすいよ。」とかいろいろ教えてくれて、とっでもうれしかったです。とっでもわかりやすく、楽しく授業ができてよかったです。

小6・女子

## ★友だちっぴいな

▽雨の日の学校で、かさを忘れたぼくは、学校が雨の日にかし出すかさをかりようとしたけど、その日だけかさのかし出しをしていなかったの、雨にぬれながら帰らなければならなかった。いつもいっしょに帰る友だちと歩いていると「あれ？かさないの？」と聞かれて「うん。」と答えた。友だちに「じゃあ、ぼくのかさ入る？」と聞かれた。とっでもうれしかった。ぼくはこの友だちのやさしいところをあまり見たことがなかったけど、今、やさしくなってくれた。しかも気づかっている顔や話し方じゃなくて、当然のことのような顔や言葉でした。ぼくはその友だちを大切に、その友だちのようにやさしくなりたいです。

小6・男子

▽わたしが学校のそうじをする時間に、おなじばしよをそうじする友だちがいつも「いっしょに行こう。」ときそつてくれます。とてもうれいす。だからつぎはわたしからさそいたいす。

小2・女子

▽私の後ろには2学期から転入してきた子がいる。その子は何もわからずにいたけど、クラス全員がやさしく笑顔でいろいろなことを教えてあげていた。男女関係なくやさしく教えてあげている姿に、私は心が温かくなった。私もこんな人になりたい！と思った。転入生は、毎日楽しそうに学校生活を送っています。やっぱり「やさしさ」って素てきだなあと改めて感じました。

小6・女子

▽ぼくが小学1年生のころに分団でTさんがいじめられていました。ぼくは声をかけようと思いましたが、自分もいじめられるのがこわくて声をかけられなかったけど、ぼくと同じ1年生のMさんが「かわいそうだよ。」と言ったので、ぼくは心が温かくなりました。それからTさんは、みんなと仲よくなつたし、ぼくの友だちになりました。だから、ぼくもだれかがいじめられたり悪口を言われたりしていたら「だめだよ。」と言いたいす。

小4・男子

▽ぼくは、ある発表会でめったにとれない賞をとりました。その時、学年の人が自分のことのようによるこんでくれたので、今まで頑張つて良かったと思いました。

小6・男子

▽きのう、サッカーでYくんがゴールにいられた時、Rさんが「すごかったね。」と言ってあげたのでうれしそうです。Rさんはやさしいなと思いました。

小1・男子

▽ようちえんのとき、ともだちとけんかをしたけど、なかなかおりできてよかったです。あやまることはたいせつだとおもいました。

小1・男子

▽わたしは2年生の時に、友だちとけんかをしました。その日はあやまってくれませんでした。だけど友だちが次の日に自分からあやまってくれたので、わたしは「いいよ。」と答えました。あやまってくれたときはすごうれしかったです。それからその友だちとわたしはすごくながよくなって、けんかをしなくてもすくなくなれるんだなと思いました。

小4・女子

▽ぶんだんとうこうのとき、おねえさんがすいとんとしよバッグをもってくれたので、うれしかったです。6年生になったら、ちっちゃいこのすいとんやとしよバッグをもってあげたいです。

小1・女子



▽ぼくは、3年生の時に、書写が苦手だった。冬休みの前に書写があった時「お正月」と書くことになった。だが、上手に書けなかった。だけどK君が「上手だね！」や「もう少しこうしたらいいよ。」って言うてくれた。その時とてもうれしくて泣きそうぐらいになった。そうしたらきれいな字になってうれしかった。4年生になって書写が大好きになった。K君、本当に本当にありがとう。

小4・男子

▽ある日の放課後のことでした。校庭のジャングルジムで女子が遊んでいました。そこには男子のSさんとYさんがいっしょに遊んでいました。ぼくは、そのすがたをブランコに乗ってながめていました。SさんとYさんは、ジャングルジムの上で男女関係なく仲良く楽しく遊んでいました。ぼくは「女子と遊んで楽しいのかなあ？」と思いました。でもSさんとYさんは笑顔で遊んだりゲームの話をしていました。ぼくは男女関係なく遊びたいと心から思いました。小5・男子

▽私のちよつといい話は、となりの席になった○○さんが、私が消しゴムを忘れてしまった時に、  
※クレーピーに入っていた消しゴムを私にかしてくれたことです。しかもそれが新品の消しゴムだったので私は「先生にかりるからいいよ。」と言ったけど「いいよ。」と言ってかしてくれたので、心がとっても明るくなりました。私も同じような事があつたらやっあってあげたいです。小5・女子

※色鉛筆の商品名

▽ぼくが、外でボールを使って遊んでいた時に、投げたボールが遠くへいってしまいました。ぼくがそのボールを取りにいこうと思ったら、低学年の子が自分が使ってもいけないのに、走ってボールを取りに行ってくれました。

「ありがとう。」と言うとにつこり笑顔でボールを渡してくれました。こんな気づかいがとてもやさしくていいなと思いました。ぼくはとても気持ちがよくくなりました。

小6・男子

▽ぼくは、体そうをするのがちよつとにがで、なかなか体そうができませんでした。2年生でちゃんとやろうと思ったけど、むりでした。すると〇〇さんが、せなかをかるくおしてくれました。つらいきもちだったけど、やっとできました。ぼくは「はあよかった。」と言いました。できてよかったと思いました。

小2・男子

▽家の近くで、友だちの家の車が私の家の方に曲がりました。「私の家に用があるのかなあ。」と思いました。そして家に行くと、わたしの自学ノートをおじいちゃんにわたしていました。私はとつてもびつくりしました。家に帰ったら、おじいちゃんが「メモ帳（自学ノート）を持ってきてくれたんだよ。」と言いました。私はとてもうれしかったです。明日は「ありがとう。」と言おうと思いました。次の日、私は友だちに「ありがとう。」と言いました。

小4・女子

▽ぼくたち釜戸小学校には、Yさんがいます。自然の風がこわくて外に出られません。授業の時に、風がこわくて泣いちゃった時もあるけど、Yさんはみんなになぐさめてもらったりしてちよつとずつ風をこくふくしようとかがんばっています。

今はまだ風がこわいけど、ゆうきを出して外に行つてがんばっています。ぼくたち5年生はYさんが風がこわくて授業に出られない時に「さぼれてYさんはずるい。」とか言う人はひとりもいません。ぼくたち5Aは男女関係なくYさんが泣いていたらみんなでおうえんして、Yさんはゆうきを出して風をこくふくしようとかがんばっています。

小5・男子

▽学校で集めるプリントが多く大変だった時に、友だちが「私これ集めるね。」と手伝ってくれました。さりげなく当たり前のように集めてくれてうれしかったし、私もこれからは困っている人がいたら助けてあげたいと思いました。

小6・女子

▽習い事で、先生にたくさん注意された時、YちゃんやMちゃんが「大じょうぶ！やっているあいだに上たつするよ！」とか「大きい声も出ててよかったよ！」などはげましてくれたり、アドバイスをくれたりして、その言葉が勇気になって本番きちんとできました。それに、自分の背中をおしてくれたように感じました。次は自分が背中をおしてあげられる存在になりたいです。

小6・女子

▽私は、おうえんだんになりました。なったからには練習をしなくてははいけません。休み時間に予定を書くのですが、わたしはおうえんだんなので休み時間に練習をします。だから予定を書くということができません。「ほかのおうえんだんの子を待たせてしまう。でもクラスの子にたのんでばかりでいいのか。」とずっと不安でなやんでいました。「おうえんだんは、全校のためにやっていること！」と決心してクラスの友だちにたのんでみました。するとその友だちが「いいよ！」とやさしく言ってくれました。その時、私は「この子は友だちの事をすごく気にしてくれるなあ。みんなにもとつてもやさしいなあ。」と思いました。私は「この子みたいにみんなにやさしくできたら、自分もすぐくうれい気持ちになる！」と思いました。これからも優しい心を大切にしていこうと感じました。

#### 小4・女子

▽ぼくが、どうしても当番の仕事ができなくて困っていた時、友だちが「代わってあげるよ。」と言ってくれたので、心が温かくなりました。自分も友だちが困っていたら助けてあげられるといいと思います。

#### 小6・男子

▽友だちが、きゆう食の時に、きゆう食をもらうじゅん番をゆずってくれました。係のしごとがあつていそいでいたのでよかったです。ぼくは「ありがとう。」と言いました。その友だちと前よりもなかくよくなった気がしました。

#### 小3・男子

▽応えんで赤組のみんなの前で大きな声で自こしようかいをする時に、少しはずかしかったし、まちがったらどうしよう…と不安だった私に、Mさんが「きんちょうしなくても大丈夫だよ！」  
「みんな言うからNちゃんもがんばって。」とはげましてくれました。おかげで私は勇気を出して大きな声でみんなの前で言えました。心がほっとしました。

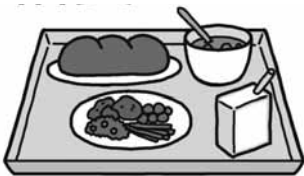
小5・女子

▽ぼくは、学校でよく消しゴムやえんぴつを落とします。そのとき、となりの席のAさんと遠くの席のRさんがときどき拾ってくれます。Aさんは「はい。」とやさしい声で拾ってくれます。Rさんは「気をつけてね。」と声をかけてくれます。いつも拾ってくれる時にぼくは「ありがとうございます。」と感謝しています。

小4・男子

▽ぼくが足がいたくてまっぼげえを使って生活をしていた時、クラスのみんなが手伝ってくれました。その中でとくにうれしかったことは、一人の友だちが、ぼくの給食をたのんでいないのにくぼってくれたことです。ぼくのクラスはみんながみんな気づかえるとてもやさしいクラスです。

小3・男子



## ★「がんばって」で「プワー」が出た！

▽この前、グループの中で係を決めることになりました。スター係という係があつて、だれも手を挙げなかったので思いきって「私がやる！」と言ったら、グループの子が「がんばってね。」とあつたかく言ってくれたからうれしかったです。

小5・女子

▽ぶんだんでわたしがつかれたとき、6年生の子が手をひっぱってくれました。その子は手をひっぱってくれるだけじゃなくて「がんばって。」と言ってくれます。わたしはそのことばでがんばれるなと思いました。

小2・女子

▽わたしが、きんちようしていたりしんぱいしているとき「だいじょうぶ。」「Mちゃんならできるよ。」「がんばって。」などとってはげましてくれた6年生のおねえさんたち。がんばったあとは「できたじゃん。」「すごい。」とほめてくれた。すごくうれしくてまたがんばろうと思った。わたしもそんなステキなおねえさんになりたい。

小2・女子

▽スポーツテストの練習の日、ぼくが50メートル走でスタートに立っている時、3年生の子が「がんばれ。」「ファイトファイト。」「フレーフレー。」とおうえんしてくれた。おわった後、「がんばったね。」「8秒台なんてすごいよ。」と、はげましてくれたのでうれしかったです。

小3・男子

## おどろくついでにわらうかやう

▽友だちとあそんでいてころんでしまいました。そうしたら「だいじょうぶ？」と言ってくれました。そして、いえまではんそうこうをとりに行つて、はつてくれました。ぼくはうれしかったです。友だちにかんしゃしています。「ありがとう。」と言つたら「べつに気にしないで。」と言つてくれました。

### 小2・男子

▽休み時間の学級遊びの時、ドッジボールでボールを拾おうとして、同じクラスの男子のKさんの頭に目をぶつけました。そうしたら、周りの子たちが「大丈夫？」と心配してくれました。「目、開けられる？」「見える？」と聞いてくれました。そして、そうじが終わつてもすごく心配してくれました、すごく心があたたかくなりました。

### 小4・女子

▽ぼくが足をいためた時、Iさんがやさしく「大じょうぶ？」と言ってくれたのでよかったです。それからかいだんを上がる時におんぶをしてくれました。Iさんはぼくとだいたい同じぐらいの体重なので、おんぶしてかいだんを上がるのはとても大へんだったと思いました。こんどは、ほかの人がこまっていたらIさんみたいにあい手のことをかんがえて手だすけをしたいです。

### 小4・男子

▽一学期に私は足をけがしました。そんな時、クラスに入ったら、ほとんどの子が「だいじょうぶ?」「どうしたの?」と心配してくれてうれしかったです。中には階段んで手をつないでいっしょに歩いてくれる子がいました。登下校の前のあそんでもいい時間で、あそびたいと思ってるかもしれないのに、いっしょに歩いてくれた友だちにも感しゃです。

#### 小4・女子

▽わたしが、ちょっと気分がわるかった時、友だちが「どうしたの?だいじょうぶ?」と言ってくれたのでうれしかったです。その時は二人がわたしのことを気づいていたので、友だちのことをだいにしているなと思いました。ふつうなら、人の気分とか分からないのに、気づくことができるところが高学年らしくて、すごいと思いました。わたしは、やさしさや友だちをだいにすることで全校の和が生まれ、人々がそれをまねすることでその和を広げることができると思います。そうすればみんななかよくじゅぎょうや休み時間を楽しくすことができます。

#### 小4・女子

▽ぼくがけがをして病院に行った時、となりにすわっていたおばあさんとおじさんが「どうしたの?大丈夫?」と聞いてくれました。おばあさんとおじさんが病院から帰って行く時に「お大事にね。」と言ってくれました。けがはいたかったけど、うれしい気持ちになりました。

#### 小3・男子



## ★家族っていいな

▽ぼくは、字がきたなくて、いつも勉強の時にお母さんに「もつときれいに書きなさい。」とかられていました。

でもある日、勉強をしている時に、おばあちゃんが「字がきれいだね。」と言ってくれました。次の日も「字がきれいだね。」と言ってくれました。「そんなにきれいじゃないよ。」と言ったら、おばあちゃんに「そんなことないよ。」と言われてとてもうれしかったです。

小4・男子

▽私の妹が夏休みに食べたすいかのたねを庭にうめていました。妹は毎日おきたら水をやり、夕方にも水をかかさずやっていました。けつきよく芽が出ることはなかったけれど、毎日いっしょうけんめい水やりをしている妹を見ていたら、心があつたかくなりました。

小6・女子

▽毎朝、お母さんがお父さんのおべんとうを作っています。土曜日の朝、お母さんがかぜをひいて作れなかったので、ぼくがおにぎりを2こ作りました。しそのおにぎりとしおおにぎりです。たきたてのごはんはすぐあつくてやけどしそうです。お父さんが会社に行く時に「えー、しおむすびか。」と言いながら、えがおで会社へ行きました。お母さんが「たすかった。ありがと。う。」と言ってくれました。会社から帰ってきたお父さんは「しおむすびおいしかったよ。」と言ってくれたので、心があつたまりました。

小4・男子

▽あるさんかん日のことでした。

わたしは、きよしゆをするのがはずかしくてできませんでした。さんかん日がおわってかえたら、おかあさんとおとうさんが「手があげられなかったけどがんばったね。つぎがんばってよ。」と言ってくれたので、むねがドキドキしました。つぎはきよしゆをできるようにどりよくしようと思いました。

小2・女子

▽ぼくはある日、わすれものをした。おかあさんにおこられてちゅういをされた。ぼくはちよつといやなきもちになった。だけど、ぼくはそんなおかあさんがいいと思う。ちゅういをするところからなおそうとするし、チェックしようと心で思うからです。こんどからはちゃんとチェックをしてわすれものをないようにしたい。おとなになってからわすれものをするとはずかしいと思うから、今のうちにしかつてくれていると思う。ぼくにはおとうとがいる。ぼくがわすれものをする、おとうともいいかげんになっちゃうから、ぼくがちゅういしたり、おかあさんがしかつていると思う。だから、ぼくはいいかげんにせずになんかしたいです。

小2・男子

▽家から学校へ行く時の話です。毎日、朝、つかれがどつと出てきて学校に行きたくないと思います。でもお父さんが「気合を入れて頑張ってこい。」と元気に毎日言ってくれます。そのおかげで毎日気持ち良く学校に行くことが出来ます。

小6・男子

▽お母さんと姉と三人でスーパーに買い物に行ったときです。そのスーパーは、会計の時、バーコードを自分で通してお会計できるシステムがあり、お母さんも自分でバーコードを通してしまいました。そうしたら、姉がとつぜん「わたしやる。」と言ってバーコードを通してお手伝いをしていました。帰りにお母さんがコンビニによって買い物をしたのですが、その時もおつかいの後、にもつを持ちっていました。姉らしいことをしたのが初めてだったので、びっくりしました。でもお母さんはちよつとうれしそうにしていたので、わたしもうれしいなあと思いました。

小4・女子

▽わたしがかたづけているときに、おとうとが「いっしょにかたづける。」と言ってくれました。そのとき、うれしくなりました。かたづけたら、おかあさんに「ありがとね。」と言ってもらえました。そのときにわたしは、心がすっきりしました。うれしかったです。かたづけをするときもすっきりするし、へやもきれいになるし、きもちよくなるから、そうじをしたりかたづけをしたいと思いました。

小2・女子

▽ぼくがしゅくだいでこまっているとき、おとうさんが教えてくれました。そのおかげでしゅくだいが早くできるようになったからうれしかったです。だからつぎは、ぼくがおとうさんのおてつだいをしてあげたいです。

小2・男子

▽ぼくが、おうちで※ケトのしゆくだいがなかなかできなかったとき、おとうさんがおしえてくれたおかげで、ケドのしゆくだいを早くおわたしたので、ぼくは「ありがとうございます。」と言いました。おとうさんがおしえてくれたおかげで学校でもけいさんが早くになりました。今、おとうさんにかんしゃしています。

小2・男子

※計算ドリル

▽わたしは、いえでべんきようをいっしょうけんめいやりました。おわたあと何もすることがなくて「ひまだなあ。」と言ったら、おとうさんが「ひまだったらあそぼ。」と言ってくれました。わたしは、おとうさんにさそってもらつてうれしかったです。おとうさんとあそんでたのしいなあとおもいました。

小2・女子

▽ある夜ごはんの時の話です。私が「のどがかわいたなあ。」と言うと、お兄ちゃんは何も言わずに私のコップにお茶をついでくれました。私が「ありがとう。」と言うと、お兄ちゃんは「どういたしまして。」と言ってくれました。私もお兄ちゃんにその時はとてもかんしゃしていました。また、お兄ちゃんにおんがえしができるように少しでもがんばろう！と思いました。学校でも「ありがとう。」と言えるようにがんばりたいと思いました。

小5・女子

▽お母さんは、わたしのお助けマン！

わたしが、勉強でつまずいた時は、お母さんがかんたんなやり方を教えてくれます。わたしが、料理でこまった時も「もう少し力を入れてググッて…。」とアドバイスをくれます。

お父さんは、わたしが予習で分からないと「こうしてここはこういう意味で…。」と教えてくれます。お母さんは、おこるとこわいけれど、お父さんはあまりおこったりしないので、おこってもこわくありません。

わたしは、こんなお父さんとお母さんが大好きです。これからも長生きしてね。お父さん、お母さん、わたしがおばあさんになっても、地球で生きていてね。(できれば)いつもありがとう。とても感謝しているからね。

小4・女子

▽わたしはピアノを習っています。家で練習していてつかえると、おこってしまうときがあります。でもおばあちゃんが「だれでもさいしょからはできないよ。ピアノの先生も練習して教えてくれるんだよ。」とはげましてくれたので、いまでもがんばっていられます。

小3・女子

▽わたしは、おかあさんのごはんがすきです。気もちがこもっていておいしいです。毎日そんなごはんがたべられるのがとてもしあわせです。わたしもおとなになったらおいしいごはんがつくりたいです。

小2・女子

▽わたしのいもうとは2さい。いつもわたしのかみのけをひっぱったりたたいたり、いじわるばっかりしてくる。そんないもうとなんでいきらいだった。ある日による、おかあさんがいないとき、わたしがねかしつけたらいっしょにねてくれました。ちいさいおかあさんみたいでうれしかった。

小1・女子

▽夕食をお母さんと作っている時、私はみそしるを作っていました。ひさびさにみそしるを作ってなかなか作り方が思いだせない時、お母さんが作り方を教えてくれました。私が分からない時、言わなくても分かるなんてさすがお母さんと思いました。夕食ができて、お父さんや妹に「おいしい？」と聞いたら「おいしい。」と言ってくれたので、うれしかったし、笑顔になれたのでうれしかったです。私はこれからお母さんの料理の手伝いをたくさんしようと思いました。

小6・女子

▽わたしは、いえのひとにかんしゃしています。なぜかという、いつもおいしいごはんをつくってくれるし、いっしょにあそんでくれるからです。トランプをやってくれるので、おかあさんにかんしゃしています。おとうさんはおしごとをよるおそくまでやっているのですが、いなかと思っ  
ています。これからわたしもおかあさんやおとうさんにいいことをいっばいしたいです。

小2・女子

## ★がんぼった運動会

▽ぼくが、うんどうかいでぜんぶのぎょうじがおわってかえるまえ、お母さんが「すぐくかんどうしたよ。」と言ってくれてほんとうにうれしかったです。おとうさんにもおばあちゃんにもほめてもらってすぐくうれしかったです。すごくいい一日でした。だから、つぎのじきゆうそうでもがんぼって20位までに入りたいです。

小2・男子

▽ぼくは、運動会の60m走の時、きんちょうしてスタートがおくれてしまいました。だけど、家族からの「がんばれー！」という声で最下位だったけど全力でゴールできた気がします。お昼、家族のもとへもどったら「結果は三位だったけど、がんぼって走ったから金賞だよ。」と言ってもらいうれしかったです。

小4・男子

▽わたしたちは、運動会で組み立て体操をやります。ピラミッドや塔を作る時には、一番下の台になります。すごく重たいし、こしやひざがいたいけど、となりにいる6年生の子が「がんぼって。もう少しだよ。」と言ってくれます。一回だけではなく、練習の時は毎回言ってくれます。だから「せなかがいたいけどがんばろう。」と思ひ、ふんばることができません。組み体操だけでなく、もしとなりや近くにがんぼっている子がいたら、声をかけて支え合えるような人になりました。

小5・女子

▽毎年、運動会の最後をしめくくる種目「紅白リレー」。

その選手になるために、お母さんが「走りに行かない？」とさそってくれました。行ってみればぼくにはまだできていない所がたくさんありました。「かたを上げない」「ひじをもつとひく」「べた足はだめ」など。紅白リレーの選手に選ばれてからも、お母さんといつもいっしょに走りに行きました。本番、ぼくのチームは一位でした。今までこんなへたくそな走り方をずっとサポートしてくれたお母さんはすごいと思いました。紅白リレーが終わってからもぼくは走ることにしました。来年は、今年よりずっと速くなっているんじゃないかな。

#### 小4・男子

▽私は、運動会の応援団長になりました。絶対ゆう勝したいという気持ちがプレッシャーになりあせってしまい、一人で進んで、あまり団の意見を聞くことができませんでした。でも応援団のみんなが私についてきてくれました。そのおかげで「みんなにたよっていいんだ。」ということに気づき、それからは応援団と協力して活動できました。応援団のみんなにはとても感謝します。

#### 小6・女子

▽運動会の小中合同リレーの練習で、赤軍は四位でした。しかし、ゴールした時に、赤も白もはくしゅをしていました。何位でもいいので、せいっぱいやることが大事なんだと思いました。

#### 小5・男子



▽この前、運動会がありました。個人走の時に私は家族のみんなに「必ず一番とってくるね。」と言ひ、競技に向かいました。いよいよ自分の番が来ました。「いちについてよいいパン。」の音で走りだしました。しょう害物競走なのでまずハードルをとびます。この時まだ私は一番でした。次のポールつきは練習の時、必ず一番をとっていた競技だったので「これはいけるぞ。」と思いました。でもポールがコーンにぶつかりコース外へいつてしまったので急いで取りに行き、また走りだしました。結果は三位でした。じゅん位たんとうの子に「三位ね。」と言われた時、心の中が悲しみとくやしきでいっぱいになりました。まだ旗の前にいた時はなんともなかったけど「団席にむかいます。」と言うゆうどう係さんの声と同時に目から大量の涙があふれてきました。でもその時、お母さんが団席まで走ってきて「しょうぶは一回だけしかないけどがんばったんならそれでいいんだよ。」と言つてくれました。その言葉に私は涙を大量に流しました。小5・女子

▽うん動会でわたしは白ぐんでした。そしたら、白ぐんが負けて赤ぐんにそう合ゆうしようもおうえんゆうしようもとられました。わたしがよくやしくてないいたら、友だちのTさんが「なかなくてもいいじゃん。ゆうしようの次にいい、じゅんゆうしようがとれたんだから元気だして。」と言つてはげましてくれました。なぜこんなことを言つてくれたかというと、練習の時から白ぐんが負けていた時も「がんばれがんばれ。」と言つてくれていたからです。わたしはともうれしかったです。また来年もがんばろうと思いました。

### 小3・女子

## ★クラフズでいっしょうけんめい

▽私は音楽クラブです。アルトとソプラノのパートで分けられるとき、私はソプラノで、パートリーダーを決めることになりました。そうしたら、ソプラノの仲間に「リーダーになつてくれな  
い？」と言われて、私も必要とされているんだなと思い、うれしかったです。

小6・女子

▽ぼくは、野球で守びはうまいんだけど、バッティングがにがてです。練習試合をした時に、守びはファーストで、初めて二番バッターになってきんちようしていた時に、チームのみんなが「がんばれ、○○ちゃんならぜつたいに打てるから。」とはげましてくれました。内やあんだやヒットがたくさん打てたので、こんどはぼくがみんなをはげましてあげたいです。

小5・男子

▽テニスの東濃大会の話です。ぼくはテニスのペアのK君と勝ちぬいてきました。2回中、2回とも勝ち、ぼくとペアのK君はよろこびました。3位です。次勝てば、2位か1位です。そして準決勝です。友達が次にぼく達と戦う人が強いと教えてくれました。ぼくは、その言葉を聞いて、一瞬負けると思いました。その時に、Y君やS君、H君が「がんばれ。」とぼく達に声をかけてくれました。1位の人はすごく強くて1点も入れることができませんでした。ぼくは、すごくやさしかったです。試合の終わりやひょうしょう式の終りにみんなが「がんばったね。」など温かい声をかけてくれてよかったです。

小4・男子

▽県大会の決勝の時、自分たちも試合前なのに帷子西可児かたびらの子たちが、応援にかけつけてくれました。ふだんはライバルどうしで戦っているのに、みんなで声援を送ってくれて、すごくうれしかったし、リラックスできました。同じスポーツをする仲間、チームはちがうけど、大切な仲間だと感じました。

小6・女子

▽ぼくはテニスをやっている。ぼくがやっているテニスは2人でプレーします。そのペアとは、練習の時も試合の時もいつも一緒です。友だちの中で一番ぼくを分かってくれているペア。そんなペアの言葉は誰よりもしんらいできるのだ。

試合の時、ぼくたちはピンチになってしまった。その時、ぼくをぜつぼうのふちから助けくれたのはペアの一言だった。それは「○○、大丈夫、ぜつたいいけるよ。」という一言だった。その一言で、ぼくはきりかえることができ、優勝できた。その後、ぼくはペアに「ありがとう。さっきは。」と言った。そうしたら「○○もありがとう。」と言った。気づいていなかったけどぼくも相手を言葉でなくさめられるんだなーと知り、何だかうれしくなった。

小6・男子



## おうれしい出来事

▽家族で旅行に行った時の話です。車に乗って5時間ぐらいの旅館にとまることになりました。初めてとまるところだったので、どこに何があるかくわしくわかりませんでした。お父さんやお母さんに温泉の場所を聞こうと思いましたが、でも妹や弟の世話をしていたので聞けませんでした。一人でうろうろと温泉をさがしていると、わかい女の人がわたしに声をかけてくれたのです。「どうしたの？」初めて出会った人なのに声をかけてくれてとてもうれしかったです。お父さんやお母さんにもそのことを報告して、あとでお礼を言いました。女の人は笑顔でこたえてくれました。わたしは、女の人のように初めて出会った人にもえがおでせつしてあげられる人になりたいと感じました。

### 小4・女子

▽私の住んでいる地区では毎年秋祭りで、笛ふきのがつそうがあります。その練習は夜なので、かいちゅう電灯を持って公民館まで行きました。練習が終わって帰ろうとしてかいちゅう電灯をつけようとしたら、電池が切れてつかなかったのです。そんな私を見た1年生の子とその子のお母さんは「家まで送って行ってあげるよ。」と言ってくれました。その子の家は私の家からだいぶはなれていたけど、送ってもらえてうれしかったです。だからわたしもこまっている人がいたら迷わずに助けてあげたいし、その子のようなやさしい心の持ち主になりたいです。

### 小5・女子

▽私はダンスをやっています。復興支援のため、土岐さんま祭りで踊りました。その時、先生は「ただ踊るだけではなく、東北の方に元気をとどけるつもりで踊ってね。」と言われました。その時、少しでも元気になってもらいたいという先生の思いがとても強く伝わってきました。私は自分のことだけでなく、人のことを思いやるような人になりたいです。

**小6・女子**

▽わたしは、前おでかけに行きました。その店はとてもこんでいました。そうしたらおじさんに当たってしまいました。おじさんがにっこりとわらって「ごめんなさいね。」と言ってくれたので心がすっきりしました。わたしも「ごめんなさい。」と言えました。

**小3・女子**

▽下校の時、地いきの人がいっしょに帰ってくれるので安心して帰れます。おじさんはホタルの話をしてくれます。足が弱い子にもつを持ってくれるので、私もたすかります。そつぎようするまでついてきてほしいと思います。

**小3・女子**

▽兄は野球部に入っていて、兄のいる学校が全国大会に出たので見に行きました。試合はえん長50回になり、ピッチャーはベンチで「もう無理。」と言いなながらも投げきったから、ぼくもこんな投手になりたいと思いました。

**小6・男子**

▽ある日、ぼくがわすれものをしてお母さんが学校へとどけてくれた時、ぼくのげた箱が分からなくてキョロキョロしていたら、後ろから5年生の女の子が「よかったらとどけましょか？」と声をかけてくれました。近くにいた先生がお母さんに「何年生ですか？」と聞いたら、その女の子は「分かるからだいじょうぶです。」と言ってわすれものを受け取って、ぼくのところまでとどけてくれました。その5年生の女の子はぼくと同じクラスに妹がいて、ぼくのお母さんのことを知っていたのでわかったんだと思いました。お母さんは「困っていたから声をかけてもらえてとても助かった。」と言っていました。これからは、わすれものをしてお母さんを困らせないようにしようと思ったし、ぼくも困っている人がいたらためらわず声をかけてあげられるようになりたいなと思いました。

小3・男子

▽ぼくがするすばんをしているとき、おかあさんによるこんでもらいたくしておへやをきれいにかたづけました。おかあさんがかえってきて見せたら、とってもきれいになっていたのでよるこんでいました。とってもよるこんでくれたからぼくはうれしかったです。

小1・男子



▽ぼくは、さいきん、おじいちゃんとおばあちゃんといっしょにおはかまいりにいきました。おばあちゃんといっしょにおはかをきれいにしたり、おまんじゅうをおそなえしたりしました。そしておじいちゃんのおとうさんやおかあさんがそのおはかにねむっていることやごせんぞさまをたいせつにすること、「ありがとう。」のきもちをもつことをおしえてもらいました。これからほかぞくやともだちだけじゃなく、「ごせんぞさまにも「ありがとう。」のきもちをたいせつにしたいです。

小1・男子

▽いとこが遊びに来た時、私はかぜをひいてしまった。部屋で休んでいた時、いとこが来て「これあげる。」と手紙をくれた。中には「早く元気になって遊んでね。」と書いてあった。その時、とても心が温まった。

小6・女子



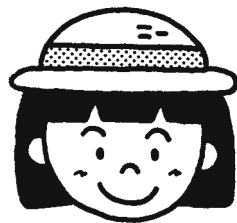
▽5年生の一学期のことです。その日は休日だったので外で遊んでいました。するとバタバタという音が長ぐつ（外に出していたもの）の中から聞こえてきました。見てみるとツバメが中に入っていました。かわいそうだったので出してやり、エサをあげました。そのうち元気になってツバメは飛び立っていきました。とんでいるうちに、仲間らしきツバメがどんどんやってきて、そのツバメの周りをぐるぐる飛びました。そのうち助けたツバメは仲間のツバメといっしょに森に飛んでいきました。その様子はまるでツバメを仲間たちがむかえに来たようでした。きっとそのツバメたちはきずなが深いんだと思いました。

#### 小5・女子

▽私の家には畑があります。そこで色々な野菜を育てています。じいちゃんが草刈りをしていたら、きじの母親がじつとしていたそうです。じいちゃんに呼ばれて、私も鳥を見に行きました。鳥のそばへ行っても逃げることもせず、じつと動かずにいました。死んでいるのか心配でした。指でさわったら、30cmぐらい移動しました。よく見ると玉子が6個見えました。じいちゃんは、このままだとカラスに食べられてしまうと思い、ワラをいっぺいもってきて、きじの巣がカラスに見つからないように少しづつ巣の周りをガードしました。じいちゃんは、毎日きじが早くひなにかえるよう、見守りをしていました。そしてある日、ひなが5羽、誕生しました。のこり1個はひなにかえれず、とてもかわいそうだと思います。5羽のひなが元気に育って、どこかで親子いっしょに生活しているすがたが見えたらいいなあと思いました。

#### 小5・女子







# 中学校編



あいさつでニコニコ笑顔	37
歌声が心に響く	38
「ありがとう」で心ポカポカ	39
がんばった体育大会	40
部活・クラブ仲間とのきずな	43
友だちっていいな	48
家族っていいな	52
地域の人とのつながり	54
うれしい出来事	56

## 『ちょっといい話』の点字版ができました！

ボランティアグループ「てんやく瑞浪」のみなさんが『ちょっといい話1』と『ちょっといい話2』の点字版を作成してくださいました。点字版は市民図書館と市役所に置いてあります。



## おぼくがいつもと違う道を通って学校に行く時のことだった。

▽ぼくがいつもと違う道を通って学校に行く時のことだった。道路沿いの家を見てみると、文字を書いたダンボールをぶら下げている家があった。自転車を止めて見てみると、「おはようございます！御苦労さまです！」と書いてあった。自分に対して書かれたものではないけれど、とてもうれしい気持ちになった。

中2・男子

▽私が毎日学校から帰ってくる時に、近所のおばさんが「おかえり。」と言ってくれます。この前久しぶりに会ったときに、「大きくなったね。」と言われました。いつも自分に親しげに話してくれる近所のおばさんに会えて、とても嬉しく思いました。これからは、私がおばさんにどんどん話しかけて、元気になつてもらいます。

中2・女子

▽毎朝、登校中に会うおじさんがいます。おじさんは毎回、私を見ると「おはよう。」と声をかけてくれます。毎朝、とても心があたたかくなります。いつも私は恥ずかしくて下を向いてあいさつをしてしまいます。今、おじさんの気持ちを考えてみると、心はあたたかくなっていないと思います。次会ったときは、恥ずかしくても、おじさんの方を向いて、心を込めてあいさつをしたいと思います。

中2・女子

▽学校の登下校中、よく地域の方に会います。会うと、「おはよう。」や「さよなら。」のあいさつもしますが、それだけではなく、「おかえり。」や、「学校楽しかった？」などの声もかけてくれます。家族のような会話を地域でできて、地域全体が家族のような気分で、とてもあたたかい気持ちになります。このような地域のつながりが、ずっと続けばいいな…と思いました。

中2・女子

### ☆歌声が心に響く

▽私が通う学校は、合唱に力を入れていきます。これまで先輩がつくり上げてきた「伝統の合唱」を私たちが引き継ぐ時がきました。昨年、私が1年生の時の合唱は、やる気のない人が多く、ギリギリまで完成していませんでした。しかし、先輩からの伝統を引き継いでいってほしいという思いを聞き、気持ち切り換え、小中学校合同で行われる音楽交流会で見事な歌声を披露することが出来、町内の人々を感動させることが出来ました。

今年市の音楽会で私たちの合唱を披露します。現在、私たちは、この学校の伝統の合唱を引き継ぎ、市の人々を感動させる合唱をつくり上げようと取り組んでいます。他校に比べて人数が少なく、36人でつくり上げる合唱ですが、他校には負けない歌声を披露します。合唱は好きな人と嫌いな人がいますが、「伝統の合唱を引き継ぐ」という思いが私たちの原動力であり、今後一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

中2・女子

## ★「ありがとう」で心ホカホカ

▽夏休みの旅行での話です。私はサービスイリアでお手洗いに行きました。手を乾かそうとした時、小さな女の子と手がぶつかりました。私が譲ると、女の子は手を乾かして出て行きました。その後に私も外に出ると、さっきの女の子が私のところへとことことやってきました。そして「お姉ちゃん、さっきはありがとう！」と言ってから走って行ってしまいました。ささいなことなのに、お礼を言われてうれしかったし、これからもやっていきたいと思いました。

中2・女子

▽私が母と買い物をした帰りのことです。母は車のドアを開けに行っていたため、私は買い物をした物で手がふさがっていました。でも私のところにはカートがあり、返しに行かなくてはいけませんでした。誰もいなかったのです、どうしようと思っていた時、声をかけてくれたのはスーパ―の従業員の人がでした。「大丈夫ですか？片付けておきますからいいですよ。」と優しく声をかけてくれました。私はとても嬉しかったです。私が「ありがとうございます。」と言うとニコッと笑って「どういたしまして。」と言いました。仕事だからやってくれたことなのかもしれないけれど、その一言で安心できたし、実際にやってくれたので本当に助かりました。接客だとしてではなく、人としてすごいと思いました。行動だけでなく「笑顔」でというところもすごいと思いました。私もこれから、人として相手にどんな事が出来るのか考えて行動していきたいと思いました。

中2・女子

## ☆がんばった体育大会

▽体育大会前の取り組みで、呼びかけに応えず何度も注意される人がたくさんいて、応援団で怒ったこともありました。当日まで、「自分たちの軍の人たちはやる気があるのか？」と考えることもありました。でも、当日の朝にあつたほんの短い時間に、「練習しよ。」と言う人がいて、競技、応援に全力で取り組む姿を見ることができました。怒ったこともあつたけど、そんなことがあつたから、みんなも全力になれたので、応援優勝という良い結果を残すことができました。

### 中1・女子

▽体育大会の応援練習で、声が小さかったり振り付けが遅れたりした人に、厳しく注意をしたけど、しっかりとやったことを聞いて、練習から頑張ってくれた。当日は、皆最後まで声を出して頑張った結果、応援で勝つことができた。練習から厳しく言ってきたけど、文句を言わずに、皆最後までついてきてくれたから、自分はとても嬉しかった。

### 中3・男子

▽体育大会の練習で、リレーをしたときに、一人の子が転んでしまいました。その子は最後まであきらめずに走りきっていました。走り終わったら、他の子が、「大丈夫？」などの声をかけていたのです。すごいと思いました。転んだ子は最後まであきらめずに走ったし、他の子は心配していたので、両方すごいと思いました。

### 中2・男子

▽体育大会、私たち3年生にとつては最後の体育大会でした。応援も総合も優勝をねらっていました。しかし、総合の方では、午前の部で点数が取れず、相手と大きな差が開いてしまいました。それでも、みんなあきらめず、「逆転するぞ!!」と戦ってくれました。そんな姿がすごく嬉しくて涙が出ました。泣いている時、隣には一緒に泣いてくれる仲間、なぐさめてくれる仲間、こない仲間がいることが、とても幸せでした。総合では負けてしまったけど、私にとって、仲間のあたたかさを感じられた最高の体育大会になりました。ほんとありがとう。

### 中3・女子

▽体育大会前の取り組みで、団リーダーになった僕は、自分自身が呼びかけや時間行動ができていなくて、こんなリーダーでいいのかと思った。けれども、体育大会の当日が近づいてくるうちに、だんだん呼びかけや、時間行動ができるようになってきて、団リーダーとしてみんなの手本になれるようになった。競技の中でも、団リーダーとして、多人多脚や応援などでも、呼びかけをしてみんなを引っ張っていけるようになった。

そして、当日になって、応援や多人多脚などで、みんなで息を合わせることができた。結果は、総合優勝ができた。残念ながら、応援優勝をすることはできなかつたが、僕の心の中では、とても嬉しく、みんなで協力することができたからこそ、総合優勝することができたという思いがあった。僕は、事前取り組みや体育大会を振り返って、団リーダーになって本当に良かったと思つた。

### 中1・男子



▽体育大会の多人多脚。練習の時は、紅軍の方が速く、本番でも勝てると思っていました。しかし、本番の1回目、練習をたくさんやっていた白軍に、負けてしまいました。2回目が始まり、紅軍が先にゴールしました。白軍の方を見ると、こけていました。みんな辛そうな顔をしていたけど、ゴールしようと声をかけ合っていました。そのとき紅軍の人たちが、「がんばれ!」「もう少し!」「いちに、いちに。」などと声をかけていました。軍を越えてお互いに声をかけ合う。その場において、友達の間がさが改めて分かり、友達を大切にしたいと思いました。

中3・女子

▽先日の体育大会での出来事です。紅軍も白軍も接戦で、この競技で勝負がつくという大切なリレーがありました。そのリレーの代表者でトップバッターの友人がスタートでおおくれ4位で次の子に渡しました。その子はとても悔しかったらしく「自分のせいだ。」と言って落ち込んでいました。そんな時です。周りの子が一斉に声をかけ始めました。敵も味方も関係なく、温かい言葉がたくさんいきかっています。私は「人を思いやる気持ちってすごいな。仲間ってとても大切だな。」と感じました。私も人を思いやり、仲間を大切にしていきます。

中1・女子



## ☆部活・クラブ仲間とのきずな

▽部活で試合をしていたとき、サーブミスをしてしまった。ペアに「ごめん。」と謝ったら、「ドンマイ、ドンマイ。」と言ってくれた。この言葉で少しだけ心が軽くなり、試合を続けることができた。人を励ます言葉の大切さを、改めて感じた。

中2・男子

▽中学校最後の中体連の時、ペアが「勝っても負けても悔いの残らないようにしよ！」と言ってくれて、試合では二回戦目で負けちゃったけど、悔いが残らずやれました。試合の後に「3年間、ペアと一緒にやれて良かった。ありがとう。」と言ってくれたので、私は3年間、やって良かったというのと、ペアの子への感謝の気持ちで涙が出そうでした。

中3・女子

▽中体連の東濃大会で、一回戦突破した。二回戦目、相手は1年生。ジュニアあがりですごく上手な子だった。7ゲームマッチで3対0で負けている。ペアは下を向いてしまった。結果はストレート負けだった。悔しかったけど、応援席側やフェンス側を見ると、拍手してくれている子がいた。涙をこらえていたけど、ペアが泣いていて、こらえることが出来なかった。

ペアは2年生で、私をここまで連れてきてくれた。そう思うと悔しい思いから、ペアや応援してくれた人への感謝の気持ちで涙があふれた。

ペアの子、本当にありがとう。来年もがんばり！

中3・女子

▽私は剣道部に所属しています。剣道では竹刀を使います。1年生の子たちが「先輩、片付けます。」と言って私たちの分(2年生)の竹刀も一緒に片付けてくれます。部活で体育館へ行くと、窓が開いていて、1年生の子たちが開けておいてくれます。そして「おはようございます。」とあいさつをしてくれます。これら全部、1年生の子たちがやらないといけない決まりはありません。でもやってくれます。こうやって自分から動いて相手にうれしいことをするというのはすごいと思います。私も先輩として副部長して見習っていきたいです。いつも助かっているし、うれしいです。1年生ありがとう。

## 中2・女子

▽放課後の部活の時の話です。僕はテニス部で部長をしているので、よくテニスボールの入ったかごを持ちます。僕がかごを持っていると、ある後輩の子が「先輩、僕が持ちます。」と言ったかごを持ってくれました。その子は、毎回必ず気づいて持ってくれます。気づいて動ける姿は、とてもすごいと思いました。僕は普段、先輩、後輩関係なく接しています。これからは、自分で気づき、動けるようになりたいと思いました。その子の優しさにも気づけて、とても嬉しかったです。

## 中2・男子



▽私は中学校の陸上クラブに入っている。種目は主に砲丸投げだ。ある日の大会で、私は一人の先輩と一緒に砲丸投げの種目に出場した。周りは高校生ばかりだし、普段投じているものより重いから、投げられるか不安になったし、とても緊張した。種目がスタートしてから、クラブのもう一人の先輩が応援に来てくれた。私たちが投げる前に、大きな声で「フアイト！」と遠くから言うてくれた。周りには、他に高校生もいたから、大きな声を出したら注目されてしまうだろうと分かっていたはずだ。それでも、恥ずかしさを捨てて、何度も何度も一生懸命応援してくれるのがとても嬉しかった。その応援のおかげで、とてもいい結果が出た。終わった後に、先輩が、「お疲れ様。いい結果が出たじゃん！すごいね！」と言うてくれた。その言葉も嬉しかった。私も、その先輩のように、仲間のことを一生懸命応援できるようになりたいと思った。中2・女子

▽バレーの試合をやった時の話です。3年生が引退して、次は2年生がチームをリードしなければならなくなりました。そして初めての試合。緊張して、アタックを決めなくてはいけなかったのに、失敗してしまいました。私が下を向いていると、コーチやチームのみんなが、「大丈夫、次は絶対決めよう！」と励ましてくれました。そのおかげで、次のアタックはバシッと決まりました。結果は負けてしまいましたが、全員で全力を出してできたから、悔いのない試合ができたと思います。

中2・女子

▽ソフトボールの女子新人戦大会の日。私は毎日、ピッチングの練習とバッティングの練習をしている。その日の朝も、もちろん朝練をしていた。すごく緊張していてドキドキしていた。試合がどんどん進んでいく時、監督に「投げろ。」と言われました。マウンドに立った時、すごくドキドキしていて心臓がはれつしそうだった。そして一球目はボール。あせりに集中をにごされてどんどん汗が出てきた。その時、同じチームの先輩たちに「ドンマイ落ちついて！」と声をかけられた。その瞬間、急に軽くなった。後ろには守ってくれる人がいる。そして二球目。「ストライク！」そのストライクがうれしくて三振がとれた。私は、この試合で「一人じゃ戦えない。みんなで戦うんだ。」ってことを学んだ。

### 中1・女子

▽私は今年の夏、部活を引退しました。現役の時はずっと辛くて辛くて本当に嫌だったけど、私が最後までやってこられたのは私の周りの全ての人のおかげです。家族、仲間、先輩、後輩。本当にいろいろなことがあって、今でも「苦しい思い出」として残っているものはたくさんあります。でもその一つ一つが今の自分をつくっていて私を少しづつ強くしてくれました。この2年半の出来事は私にとって一生忘れられない「宝」になってくれると思います。本当にありがとうございます。

### 中3・女子

▽部活での中体連の目標は「一勝すること」でした。先輩の最後の試合なので、悔いが残らないようにと練習を頑張りました。中体連当日、緊張していた私に先輩が明るく声をかけてくれました。中体連の結果は残念だったけど、泣いていた私に、先輩は「ありがとう。」と言ってくれました。先輩たちがおもしろいことを言ってくれたり、優しくやり方を教えたりしてくれたので、部活の時間が楽しかったです。先輩、本当にありがとうございました。

### 中2・女子

▽最後の中体連の試合中、目標だった学校を相手になかなか点が入らなかったとき、チームのみんなで声をかけ合って走りきることができた。足が痛くて走るのは辛かったけど、点が決まったからハイタッチをして喜んでくれるチームの仲間や、ベンチからの応援で、試合を楽しむことができた。「最後は笑顔で終わろ!!」というチームでの約束をちゃんと守ることができて、悔いなく終わられた。チームのみんなに感謝。

### 中3・男子

▽私は今年の7月に部活を引退しました。引退後、後輩一人一人が3年生に手紙を渡してくれました。私にとってその手紙はとてうれしかったです。私はとてもいい後輩に恵まれてよかったと思います。引退する前は「テニス部なんかに入部するんじゃないかった。」と後悔していたけど、今では「テニス部に入部してよかった。」と思います。テニス部のメンバーには心から感謝しています。

### 中3・女子

▽クラブの最後の試合で、県大会までいった僕達だったが、特別延長で負けてしまいました。でも、コーチや監督が「おまえ達のおかげでここまでこれた。」と言ってくれた時、とてもうれしかったです。

中3・男子



### ☆友だちっていいな

▽私が一人でなやんでいる時に「大丈夫？大丈夫じゃないよね？話聞かよ。」と相談にのってくれる子が私の周りにはたくさんいるから、すごくうれしい気持ちになるし、その子たちには感謝の気持ちでいっぱいです！「ありがとう。」

中2・女子

▽私には、友だち関係で悩んでいた時期がありました。その時、Mさんが「一人で悩むことないよ！先生に相談してみたら？」と声をかけてくれました。私は自分のことではないのに一緒に色々考えてくれるMさんに本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。私もMさんのように思いやりの気持ちを持っていけるようになりたいと思いました。

中1・女子

▽ある日、学校の登校でバスに乗りました。初めは乗客が少なかったけれど、だんだんと増えていき、ついには席が空いていない状態になってしまいました。次のバス停でおばあさんが乗ってきました。その時、少し離れた席に座っていた同じクラスの女子がおばあさんに席をゆずってあげていました。ぼくはその子に改めて感心しました。ぼくも今度バスに乗ってゆずってあげられる場面だったら、ゆずってあげたいです。

## 中2・男子

▽ぼくの学校では、トイレのスリッパがそろっていないことが多いです。ぼくは、それに気付いても、そのまましておくことが多いです。だけど、ぼくのクラスには、トイレのスリッパがそろっていない時、しつかりとそろえている人がいるという話を聞きました。

ぼくは、その話を聞いて、誰が使ったのかわからないけれど、ぼくもその子のようにこれから学校のトイレのスリッパをそろえたいと思いました。

## 中2・男子

▽体育でハードル走をした。いつもは、ハードルをとびこせない子が、その日はハードルをとびこすことができた。その瞬間、クラス全員が自然に拍手し始めた。その子が、がんばって練習していたのをみんな知っていたからだ。仲間の喜びをクラス全員が感じられる温かいクラスだと思った。

## 中1・女子



▽学校での休み時間のときの話です。私は、よく一人でボーツとしていることが多いです。ある日、いつものようにボーツとしていたら、友達が話しかけてくれました。他の人にとっては、普通のことかもしれないけど、私にとってはすごく嬉しい出来事でした。

私は、一人でいる人がいても声をかけられません。でも、声をかけてもらえることがどれだけ嬉しいことが分かりました。だから、一人でいる子がいたら、勇気を出して声をかけられるようにしたいと思います。

中1・女子

▽私は小学校の時から英語がとても苦手でした。中学に入っても英語の成績が悪かったです。ある単元テストでクラスの平均点が悪く、私も25点でした。もう一度同じテストを全員で受けることになり、私なりの努力をしたものの42点で、私は再テストを受けることになりました。そして英語の得意な男の子に教えてもらったりしました。その男の子はとても真剣で優しく教えてくれました。再テストを受けに行く時、何度も「がんばれ。」と言ってくれました。テストが返ってきて90点だった時、私は最初にたくさん応援してくれた男の子のところに行きました。声を張り上げて喜んでくれ、ハイタッチもしました。私はその時、応援してくれた嬉しさ、こんなにも一緒に喜んでくれた嬉しさのあまり泣きそうになりました。

中1・女子

▽私は中1の時に、数学検定を受けました。数検を受けることを友達のア子に報告したら「がんばって。応援してるよ。」と言ってくれました。そして当日には、たくさんの応援の言葉や『合格祈願』と書いたメッセージ、直前には喝も入れてくれました。そのおかげで見事合格。

A子からのメッセージには『一番最初に報告して』と書かれていたから、そのメッセージ通りに一番に報告をしました。合格したことを伝えると、自分のことのように喜んでくれました。私は自分のことのように喜んでくれる友達を持って本当に幸せだと思いました。

## 中2・女子

▽前期、私は係で副室長をやりました。

ある日、初めてクラスの話し合いの司会をしました。全然やり方が分からなくて、その日の話し合いはグダグダになってしまいました。次の日も話し合いがあると思うと、すごく不安で憂うつな気分でした。

次の日の朝、友達の元副室長が「これ見てやるといいよ！」と言って司会の手順を紙に書いてくれました。すぐくうれしかったし、温かい気持ちになりました。その紙を見て話し合いをやってみるとスムーズに進めることができました。すごく感謝しています。私も自分の経験をかして、困っている人を進んで手助けできる人になりたいです。

## 中3・女子

## お家族っていいな

▽私は家から車で20分くらいの、瑞浪の塾へ通っています。今年の夏は、夏期講習で毎日塾へ行きました。お弁当は、毎日2食分。お母さんは、私を塾へ送った後、すぐに仕事へ向かい、夜遅くまで働くこともあつてすごく大変そうでした。私が、「毎日えらいよね?」と聞くと、お母さんは、「えらいけど、頑張っている姿を見るのがすごく楽しいから大丈夫だよ。」と言ってくれました。その言葉を聞いて、いつか恩返しができるように頑張ろうと思いました。

私が塾へ通えているのは、両親が一生懸命働いてくれているからです。いつもありがとうございます。

### 中3・女子

▽私の近所では、田畑がたくさんあつて、お年寄りがそこでよく作業をしています。私の祖父も、作業をしています。祖父は毎日農作業をして、私たちに米や野菜をくれます。一生懸命育てた野菜を、いつもおいしくいただいています。そのことに感謝していききたいです。

### 中2・女子

▽私には、お母さんがいません。そんな私をかわいそうだと思う人は、少なくないと思います。だけど私は幸せです。私の家は6人家族ですごく明るいです。私はここで支えられ、かわいがられて育ちました。この家族の一員として生まれてくることができ、本当に良かったです。

### 中1・女子

▽ぼくのちよつといい話は、犬を飼ったことです。犬を飼う前は、家族がバラバラで皆がイライラしたりしていました。でも犬を飼いはじめると、前よりも家族がまとまってきたのかイライラしなくなりました。これからも犬を大切に育てていきたいです。そしてもつと長いこと仲が良くなったり、一つにまとまったりしていけるといいと思います。

中1・男子

▽親が何日か家を留守にする時がありました。その時は私1人しか家におらず、家事を全部しなければなりません。親が留守になる前日に、「くやりなさいよ。」とか留守になったときにしなければいけないことを言ってくれます。そういうことを教えてくれることだけでもありがたいのですが、さらに留守にする当日に、やらなければならぬことを書いたメモを残しておいてくれます。「出かける時は、家の鍵を閉めて、火の元を確認する。」とか、忘れないように書いていってください。食事のことも、レシピを置いていってください。時や、メモと一緒に置いて、「コンビニで買ってきなさい。」と書いてある時は、とてもありがたかったです。親が留守をしている間、私のことを書いていってくださいることにほっこりしました。

中3・女子

▽僕の祖父と祖母は愛知県に住んでいます。お盆や正月によく行きます。祖父母は自分たちが大変な時でも色々なことをしてくれます。夜ごはんも大変なのに多く作ってくれます。そんな祖父母にいつか恩返しをしたいです。

中2・男子

## ☆地域の人のつながり

▽私の学校では今は5時30分下校で、私がいつも家につく時には6時を過ぎてしまいます。少しずつ暗くなってきたり、熊が出たという時もあります。しかも私は途中から一人で暗い道を行かないといけなくて、心細いなあと思っていました。そんな時に、たまたま近所の人と出会いました。その人は「大変だねー。」と声をかけてくださいました。私はその時、心細かった自分の気持ちがなくなりました。その日からその人は私と会うたびに声をかけてくださいました。今では心細いという気持ちがなくなりました。私はいつもその近所のおばあさんに会うことを楽しみにしています。

中1・女子

▽私はいつも、3人の友達と一緒に登校します。でも、ある日、友達との集合時間に遅れてしまつて一人で歩いていると、私の家の近くに住んでいるおばさんが、「あれ？今日は1人なの？気をつけて行ってきてね。」と話しかけてくれました。私は、いつも見守ってくれる人がいるんだと思つて、とても嬉しくなりました。こんなにも優しく温かい人たちがいる町で生活できるのは、とても幸せです。私はこれからも、いつも見守ってくれる地域の人に感謝しながら生活していきたいと思います。いつもありがとう！

中2・女子

▽私の住んでいる町には、中学生のボランティアがたくさんあります。地域清掃、お祭りの手伝い、小学生や幼稚園の子どもたちと一緒にの行事にも参加します。最初は休みが手伝いでつぶれてしまう…とと思っていたボランティアも、地域の方から感謝されていると実感するようになると、「ボランティアに参加してよかったな。」と思えるようになりました。これからも、地域のために活動して、感謝される中学生でいたいです。

### 中2・女子

▽私は3年生になり、地域のボランティアに積極的に参加しようと思いがついています。それまでは、あまり地域の人と関わることもなく、話をしたこともありませんでした。でも、ボランティアに参加するようになり、地域の方から、「この前はありがとう。」などと声をかけてもらい、話す機会も増えました。話してみるとみんなおもしろく、いい方ばかりでした。私は地域の方が大好きになりました。これからも地域の方とのつながりを大切に、ボランティアに参加しようと思いました。

### 中3・女子



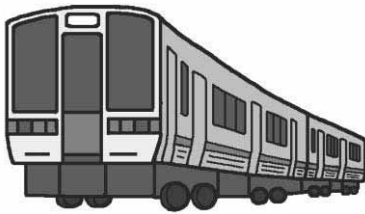
## おうれしい出来事

▽1年生の時のことです。ぼくはバスで帰るので、バス停の近くにベンチがあるのを知っています。ある日、おばあちゃんからもらった大事なずきんを落としてしまい、どんよりしていたところ、次の日、ベンチを見ると、ずきんが置いてあったのです。ずきんのゴムヒモがちぎれていたのか、ひもを焼いてくっつけてあるあとがありました。そのずきんは今も大事に持っています。いったいだれが置いてくれたのでしょうか…。

中1・男子

▽私は、友達の家に行くために、電車に乗っていました。私の乗った車両には、高校生くらいの女の子が3人座っていて、お互いの携帯電話を見て笑っていました。次の駅に着いたとき、たくさんの人が乗り込んできて、座るところは1つもなくなりました。また次の駅に着いたとき、数人乗り込んできました。その中に、70代〜80代のおばあさんがいて、女子高生の前の吊り革につかまって立っていました。すると、女子高生の人たちが顔を見合わせてから、笑顔で、「どうぞ。」と言って席をゆずっていました。私は今まで恥ずかしくてできなかったけど、譲り合うなど、親切な心をもつことは大切なんだと改めて思いました。

中2・女子



▽ある日、私が電車でどこかに行った帰りでした。私が乗った電車は、椅子があいていなくて、立ってはいけませんでした。次の駅で、杖を持ったおじいさん、おばあさんが乗ってきました。椅子がなく、立っていようとしたりその時に、1人の30才くらいの男性が、「ここ、どうぞ。」と声をかけました。しかもそのことに気づいた男性の隣に座っていた20代の女性もさっと立って、2人が座るところを空けてあげました。そのおじいさんとおばあさんは、「ありがとうございます。」と言っていました。私はそのときの30才くらいの男性の行動を見て、すごいと思いました。きっとその男性も、声をかけようか迷ったと思います。私も男性を見習って、電車やバスなどに乗ってきた高齢者や妊婦さん、小さな子どもを連れているお母さんなどに声をかけたいです。

### 中3・女子

▽ある雨の日の帰り道、途中までは友達の傘に入れてもらっていたけれど、自分の家に着く前に友達の家に着いた。傘を借りるのは申し訳ないので、「いいよ。」と断り、走って帰っていた。そのとき、近くの家から人が飛び出してきた。その人は、「ぬれちゃうよ。」と言って、傘を渡してくれた。家までもうすぐだったので、断ろうとしたら、「いいの、いいの。傘はたくさんあるから。」と言って、家の中に入って行ってしまった。少し嬉しい気持ちになり、傘をさし、お礼を言っただけでなかったな…と考えながら家に帰った。

### 中2・女子



▽夏休みの朝、私は部活へ行くため家から一人で歩いていた。一人で歩いていたので話す相手もおらず、寂しく歩いていた。そして学校に着いた。草取りをしていた先生が「一人で歩いているで大変だったね。ずっと見ていたよ。」と言ってくれた。一人で歩いていたけれど、見守られて歩いていた。だれかに見守られていたのうれしかった。

中2・女子

▽私は、夏休みに部活に行くとき、クモの巣に引つかかっているアゲハチョウを見つけてきました。私はそのアゲハチョウをクモの巣からとって放しましたが、そのチョウは羽の下の部分が食べられていて、飛ばせませんでした。私はそのままチョウを持って部活に行き、誰も使っていないロッカーに置いておきました。帰りに妹と会って、アゲハチョウを見せると、妹が凶鑑を出して、ティッシュに砂糖水をしみこませ、チョウの前に置きました。するとチョウは、それに近づいて口を伸ばして飲みました。妹は、「前、見たときに書いてあったから…。」と言いました。私は、妹にもこんな優しい一面があるんだと思いました。そして次の日、そのチョウを外に放すと飛んで行きました。たまに、そのアゲハチョウが私の家の畑に飛んできます。

中2・女子



# 高校編



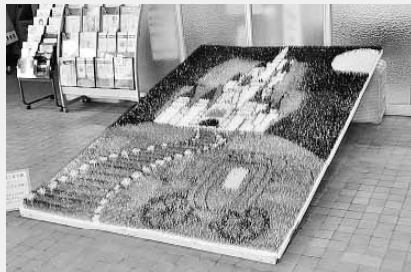
- ❁ あいさつで気分すっきり
- ❁ 友達っていいな
- ❁ 家族っていいな
- ❁ 雨の日の出来事
- ❁ 部活・クラブ仲間との絆
- ❁ 力を合わせた文化祭
- ❁ 駅、電車、バスの光景
- ❁ うれしい出来事

……  
 ……  
 ……  
 ……  
 ……  
 ……  
 ……  
 ……  
 72 68 67 65 63 62 60 59

### 文化祭の「つまようじアート」(67 ページ参照)

瑞浪高等学校文化祭において、生活福祉科の生徒が  
 展示した「つまようじアート」は、約 50,000 本つまようじ  
 をポスターカラーで染め、発泡スチロールに 1cm 間隔で  
 差したものです。シンデレラ城やかぼちゃの馬車を表現  
 しています。

縦約 270 cm  
 横約 180 cm の  
 力作です。



市役所ロビーにて展示しました

## おはようございます

▽私は小さな子どもが苦手だった。騒ぐし、自分勝手だし、礼儀正しくないし；等と思い込んでいたからだ。その日もいつも通り学校へ向かって歩いていて。するといつも通る家の前に、3才くらいの小さな子がいた。こつちをじっと見るので、だから子どもは苦手なんだと思いながらさっさと通り抜けようとしたその時だった。「おはようございます。」すっかりとした気持ちの良い声が響いてきた。その小さな子どもが私に挨拶をしたのだった。私は無意識に「おはようございます。」と言って礼をしていた。本当に驚いた。そして心が晴れ晴れとしてきた。小さな子ども、変な思い込みをされていてごめんなさい。挨拶の素晴らしさを改めて教えてくれてありがとう。次会う時は、私から君に負けない挨拶をします。

高1・女子

▽私は朝が苦手だ。なぜなら、眠いしテンションが上がらず体が重いからだ。そんな朝の通学路は学校に行きたくないと思う暗い道のリとなる。そんな暗い気持ちの朝をシャキッと覚ましてくれるのは、近所のある人の挨拶だ。その人の挨拶は声が大きくて元気に満ち溢れている。その挨拶を聞いた時に「よし！今日も頑張ろう！」と思える。会った人に挨拶だなんて当たり前のことだ。そんな単純なことでも人を元気にできるのは凄いことだと思う。私も通学路で会う人には元気がよく気持ちの良い挨拶をしたい。もちろんあの近所の人にも…。

「おはようございます！」

高1・女子

## ☆友達っていいな

▽最近の話です。

私にはいろいろな壁にぶつかって何もかもが嫌になった時がありました。そんな時、助けられたのが友達でした。友達は「だいじょうぶだよ。」や「いつでも話聞かからね。」と言ってくれました。その言葉で私は安心することができました。それに「こんなことがあったんだよ。」と話をすることができました。優しく聞いてくれながらも真剣にアドバイスをくれました。あの時、友達が助けてくれなかったら、今も一人でなやんでいたと思います。

高1・女子

▽私は、吹奏楽部です。学校の文化祭で演奏を披露し、その日の夜に吹奏楽部のみんなで焼き肉屋で打ち上げをしました。席は自由だったので2年生4人と1年生2人の机に私は座りました。私は足をケガしていてその時はまだリハビリ中でした。歩くことはできるから飲み物をつぎに行くことくらいは普通にできます。しかし、2年生の先輩が「飲み物なにがいい？ ついでにとつてきてあげるよ。」と言ってくれました。私は「先輩である自分が先輩にしてあげることだし、先輩にたがせに行くわけにはいかない。」と思い、「大丈夫です。私が先輩の分もつぎにいきます。」と言ったら、先輩は優しい顔つきで「足が危ないからいいよ。」と言って、飲み物をつぎに行ってくれました。先輩なのに先輩である自分のために働いてくれたことがとてもうれしかったです。

高1・女子

▽私は高校へ入学してしばらくしてから、ある先輩から嫌がらせを受けていました。その嫌がらせは精神的にこたえるようなものであり、先輩からのものなので他の先輩にも言いにくく、同学年の子に※クチる日々でした。私は「この人がこのままだったら、他の人にも被害がいくかも。」と思い、先輩に相談した結果、他にも同じ様な人がいることが分かり、話し合いをすることになりました。

その後、相談した先輩に「つらかったよね。よくここまで耐えたね。すぐ言ってくれたら良かったのに。高校一年とか一番大切な時なのに。私の人生を分けてあげたい。」と言ってくれました。また、話し合いの時、泣きながら同学年の人に話している先輩にとっても感動しました。ありがとうございました。

高1・女子

※ぐちを言う

▽私の誕生日の部活の時の出来事です。

私の友達らはコソコソとあやしい行動を始めました。何かと思いい様子を見てみると、突然、私の後ろに立って「ハッピーバースデー。」と言って紙ぶぶきをしてくれました。その友達とは四年間一緒にいますが、こんなに計画して祝ってくれたのは初めてでした。思い出に残る嬉しい誕生日となりました。

高1・女子



## お家族っていいな

▽私には、中学3年生の弟がいます。いつもゲームばかりしていて勉強もせんぜんなくて、頼りない弟だと思っていました。夏休みにお父さんがお休みをとれなかったから、お母さんと弟と私の3人で新幹線に乗っておばあちゃんの家に行きました。いつもは車だから荷物がいっぱいあっても気にならなかったけれど、電車だと自分で持って歩かないといけないから重いなど思っていました。そうしたら、弟が「オレ持っていくわ。」と言ってくれました。とつてもとつてもうれしかったし、弟も大きくなったなーと思いました。

高1・女子

▽私はすごく怒りやすい性格です。ほんの少しのことでもすぐむかついて人に当たってしまうこともあります。最近、家でもすぐ怒ってしまいます。学校での嫌なことを家の中でぶつけ、物に当たり、態度に表し、関係のない家族にも八つ当たり。

ある日、私はその時も怒っていて、母にひどいことを言ってしまいました。それでもなかなかイライラが収まらず、謝ることもできずにいると、その日の夜、母が私の好きなカボチャのスープを作って部屋まで持ってきてくれました。そして「何かあったら、ちゃんとお母さんに話してね。」と優しく声をかけ、後は何も聞かずにいてくれました。少しのイライラなのに母に当たったり、くだらないことなのに本当に本気で心配してくれた優しい母でした。こうやっていつも私のことを考えてくれる母がいてくれると思うだけで、心があたたかくなりました。

高1・女子

▽家族の誕生日に何かしてあげたいと思っっているけれど、どうしようかいつも迷っています。あの時、お父さんの誕生日に料理を作ることになりました。作ったら結構量が多くて食べてくれるか心配でした。でもお父さんは全部食べてくれて「おいしかった。ありがとう。」と言ってくれました。すごくうれしかったです。だから、これからも料理をたくさんしたいなと思いました。私の学校には料理コースがあるので、入れたらいいなと思いました。

高1・女子

## ☆雨の日の出来事

▽遠足で初めは晴れていたのに、お昼ごはんを食べていたら雨が降ってきました。まさか降ってくると思わず、傘を持っていませんでした。仕方がないから、タオルで頭だけを守ろうと必死でした。歩いていたら商店街に出ました。雨はやみません。するとお店のおばさんが「ぬれて風邪ひいたらだめだから、傘をもっていきな。あげるから。」と言ってくれました。私達は最初、「大丈夫です。」と言いましたが、おばさんは「あげる。」と言ってくれます。結局、私達は傘をもらい、雨でずぶぬれにならずにすみました。それと同時に遠足で行った妻籠がとても好きになりました。私はこんな優しさや思いやりのある人になりたいと思います。

高1・女子





▽下校中、いきなり大雨が降ってきた。私は傘を持っていなかったもので、雨宿りをしながら帰っていった。そうしたら、一台の車がとまり、私の目の前におばさんが出てきて、私に「車乗っていき。」と言ってくれた。とてもうれしかったが、制服はベタベタだったので、断った。でもおばさんは「大丈夫やで。」と何回も言ってくれたので、お言葉に甘えて駅まで乗せてもらった。

今まで生きてきた中で、初めての出来事で、自分でもびっくりしてとてもうれしかった。こんなにも親切な人がこの世にいるんだと強く思った。自分も大人になったら困っている人を助けられる人になりたいなと思った。

高1・女子

▽学校が終わり、友達との帰り道、急に雨が降ってきた。友達は傘を持っていなかった。私は折りたたみ傘を持っていたので、二人でさして歩いた。折りたたみ傘は小さいので、どうしても肩がぬれてしまう。「冷たいな…。」と思った時、前に歩いていたおばさんが後ろを振り返って「傘二本あるから貸してあげるよ。」と言ってくれた。急だったから、すぐくびっくりした。でもすぐくうれしかった。二人で帰るところまであと少しだったので、借りなかった。でも心がポカポカした。思わず笑みがこぼれてしまった。これからは自分が人のためになることをやろうと思った。

高1・女子

## ☆部活・クラブ仲間との絆

▽部活で私は弓道をやっている。ある時、なかなか的に当たらないことがあった。私が落ち込んでいると、先輩が来て「誰だって当たらないことはあるよ。そこであきらめたら本当にできなくなるよ。」と言った。

私は本当にここであきらめるとダメになる気がした。だから何度も何度もあきらめずに打った。疲れてきた時に一本パンツ！と当たった。私が先輩の方を見ると、先輩はニコツと笑った。

高1・女子

▽先日、名古屋でにつぼんど真ん中祭りが行われました。私の所属しているよさこいチームは16年間参加している老舗チームで、ど真ん中祭りファンにはよく知られています。私達が、友達と他のチームの演舞を見ている時、多くのカメラマンさんや観客のみなさんに「きれいやねえ。」「いつ踊るの？頑張つてね。」などとたくさん声をかけてもらえたり、中にはウエットティッシュをくれる方もいました。とっても嬉しくて、演舞をする時、毎回笑顔になりました。

いろいろな人に愛されるチームで踊れて私はとっても幸せです。これからもたくさんのお祭りで踊ると思うので、もっと練習して上手くなりたいし、見てくださる方をチームの掛け声のように「おかみさんの笑顔で、お・も・て・な・し」していきたいと思います。

高1・女子

▽中学の時の話です。僕はバスケット部でした。バスケットを始めたのは中1からです。バスケットのルールさえ知らなかった自分にバスケットを勧めたのは、小学生からバスケットをやっている一人の友達でした。その時はすごくやりたいと思う部活がなかったから、勧められたバスケット部に入ることにしました。部活体験で体育館に入ると、先輩達が汗をかきながらも必死で頑張っていました。僕は、頑張る先輩達を見て「かつこいい」と思いました。同時に自分にできるのかという不安が出てきました。

小学校の体育でやったバスケットとは違い、本格的なバスケットを見て、すごいプレイをする先輩達を見て、自分には無理だと思い、バスケットを勧めてくれた友達に「ごめん。やっぱ他の部活にする。自分には先輩達のようにできる気がしない。」と言ってしまいました。でもその友達は笑いながら言いました。「おれがルールを教えてやるし、シュートもドリブルも一から教えてやる。」と。この友達の言葉がぼくの迷いを消しました。その友達のおかげで今もバスケットを続けています。本当にありがとうございます。

高1・男子

▽老人ホームの「ひざし」という所へ吹奏楽部で演奏をしに行って、多くのおじいさん、おばあさんが感動して泣いてくださいました。自分で演奏した曲を聞いて感動してもらえるとということはどううれしかったです。それに最後は大きなはくしゅで送ってくださいってとても感動しました。この体験により、これからも吹奏楽で演奏をいっぱいして、いろんな人から感動をもらいたいと思いました。

高1・女子

## ☆力を合わせた文化祭

▽夏休みや学校がある時に、文化祭の準備をしていました。夏休みはみんながなかなか来てくれなかったり、学校がある時でも先に帰ったり、しゃべっていて作業が進まなかったりと、イライラすることが多くて泣いてしまいました。けれど、友達が「一緒に頑張ろう。絶対完成させようね。」と声をかけてくれたので、私も頑張ることができました。そしてとてもいい作品ができたし、賞もとることができて、本当に嬉しかったです。頑張ったよかったです。

### 高1・女子



▽文化祭でつまようじアートを作りました。つまようじアートとは、つまようじに一本一本色を塗っていき、それを一センチ間隔で発泡スチロールに刺すという作業をします。この作業は夏休みを使ってずっとやってきました。完成した作品は「シンデレラ城」です。とってもきれいなできました。角度を変えて見ると違う雰囲気も味わえるので、とってもいい作品に仕上がったと思います。仲間と助け合い協力した作品が学校を越えて市役所にも飾られるという事で、私ほとてもうれしかったです。たくさんの人に作品を見てもらえるので、夏休みから頑張ってきて良かったと思います。クラスで協力して作れたので、とても良い作品になりました。

### 高1・女子

## ☆ 駅、電車、バスの光景

▽名古屋から電車で帰ってきました。ちょうど混んでいて荷物を上に置いている人がいましたが、載せた時にしつかり載っていなかったのか、電車の振動で落ちそうになっていました。私はそれに気付いて教えてあげなきゃと思ったけれど、少し友達と話すだけでも周囲の視線がこっちに向くので声を出すのが嫌でした。そうしたら、私と同じ年ぐらいの子がその持ち主に教えていました。その方は、すごくありがたそうにしていたし、周りで気付いていた人も安心した感じでした。人に被害が起きる方が危ないから、今度はその場でその同じ年ぐらいの子みたいない行動がしたいです。

高1・女子

▽中学生の時、家族で名古屋に行くために駅の改札のところに行ったら、前から目の不自由な人が歩いてきました。改札に私が切符を通していると、その不自由な人も同じところに切符を入れようとしてぶつかってしまいました。その時、駅にはたくさんの方がいて、一人で歩くのは危ないし大変だろうと思ったので、親とその人の行きたいところまで連れて行ってあげました。そうしたら「ありがとう。」といっぱい言ってもらえました。やっぱりお礼の言葉を言われるとうれしいし、気持ちがいいのでこれからも人を助けたいと思いました。

高1・女子

▽電車通学の私は、家に帰るために、その日も駅のホームで電車が来るのを待っていました。その時、改札口から足が悪そうなおじいさんがゆっくり歩いて来ました。そのおじいさんは、反対側のホームに行きたいようで、困っていました。そうしたら、大学生の男性二人がおじいさんに話しかけて、体を支えながら反対側のホームまで連れて行ってあげていました。その間に大学生が乗るはずだった電車は出発してしまっただけで、大学生の人達は嫌な顔をせず、おじいさんが無事電車に乗れるまで見送っていました。私はその光景を眺めていました。本当に優しい人達だなどと思いました。私も困っていたら助けてあげたいと強く思いました。また、大学生の人達のように優しい人でありたいと思いました。大学生がおじいさんを見送った時、お互い笑顔を交わっていた場面を今でもはっきり覚えています。

高1・女子

▽私は学校の先輩と遊びに行く時に電車に乗りました。しばらくしてから若い男女二人が乗ってきました。電車の席は人でいっぱいだったので、その二人は座ることができませんでした。ふと男の人の足元を見ると、足が片方不自由みたいでした。サポーターみたいなのをつけていたのです。電車がゆれる度に倒れないように必死につかまっています。初めは誰か席をゆずってくれと思っただけで、誰も気付きませんでした。とても大変そうだったので、私は勇気を出して席をゆずりました。そうしたら、男の人も女の人も「ありがとうございます。」と言って座ってくれました。私はとてもうれしかったです。

高1・女子

▽兄はサツカーだけがをしてしまつて、一ヶ月ぐらい松葉杖を使つていました。ある日、松葉杖を使つて電車に乗つた時のことです。毎朝10分ぐらいの電車ですが、松葉杖の状態で10分も立っているのは、とても大変だと思ひます。そんな時、優先席に座つていた方が、兄の姿を見て、席をゆずつてくれたそうです。朝の満員電車なんて誰でも座りたいと思うはずです。でもその方がわざわざ席をゆずつてくれたことが、とても嬉しかったそうです。その時、兄はさすが日本人だなあと思つたそうです。この話を家族の前でした兄は、本当に嬉しくて誰かに伝えたかつたんだなあと思ひました。私はこの話を聞いて、とても優しい方がいるんだなあと思ひ、これからは、優先席に座るような人を見かけたらゆずつてあげたいと思ひました。

高1・女子

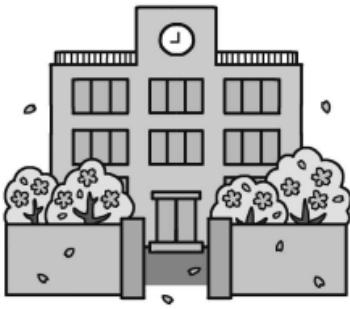
▽友達と遊んだ帰りの電車の中は、仕事帰りのサラリーマンなどであふれかえつていました。私は座席の前のつり革につかまつて「楽しかつたね。でも疲れたね。」などと話してました。そうしたら、前に座つていたおじいさん方が立ちあがつて「私は疲れていないから座りなさい。」とゆずつてくれました。私は「大丈夫ですよ。」と断りましたが、おじいさん方は聞いてくれません。「ありがとうございます。」と言ひ、席に座つたら「これからの世代は君達だから社会に出るまで疲れないでくれよ。」と言われましました。

私達にはこれからの社会を背負つていく義務があると改めて思ひました。そのために今やれることを精一杯やつていこうと思ひました。

高1・女子

▽いつも朝、乗っているバスに一人のおばあちゃんが乗車してきました。席は空いていなくて、少しの間、立っていました。私はどういう風に声をかけようか悩んで、なかなか席をゆずることができませんでした。しかし、このままにしておくわけにもいかないので「席、空いているのでどうぞ。」と声をかけました。最初は「いえいえ、大丈夫ですよ。」と言われたけれど「もう少し降りるので。」と言ってゆずりました。私がバスから降りる時、おばあちゃんが立ちあがり、私の手にあめを3つにぎらせて笑顔で「ありがとう。」と言ってくれました。その笑顔を見て、心があたたかくなり「声をかけて良かったな。」と思いました。

高1・女子





## おうれしい出来事

▽これは私が大阪へ旅行に行った時のことです。私はお店で買い物をしていました。買い物をした終わったので、トイレに行きました。夏休みということもあって人がたくさん並んでいました。列に並んでちよつと経った時、さつき買い物をしたところで忘れ物をしたと気付きました。私の後ろに並んでいた人が私を気遣ってくれて「列をとっておいてあげるから取りにいってきていいよ。」と言ってくれました。その時、私はすごく良い人だなと思いました。とてもうれしかったです。

高1・女子

▽東日本大震災があつた翌年のこと、当時中学1年生だつた私が、コンビニにおつかいに行った時です。部活帰りでしょうか、野球部らしき坊主頭の人たちが四人ほど入ってきました。そして商品棚からそれぞれ好きなお菓子やジュースを持ってレジに並んでいました。すると並んでいたうちの一人が、レジ横の募金箱を見て「おつりは募金な。」と他の人に言いました。そして野球部らしき人達は次々とおつりを募金箱に入れて出て行きました。高校生ぐらいの人の優しい一面を見て心が温かくなり、私も同じように募金をしてコンビニを出ました。人を思う心って素晴らしいなと思えた日でした。

高1・女子



▽ある日、道にゴミがあつたので、ゴミを拾いました。たまたま地域の人にほめられました。僕はとてもうれしかったです。これからも人が見ていない所、細かい所まで、町を明るくきれいにしていき、人の役に立てる立派な大人になっていきたいです。

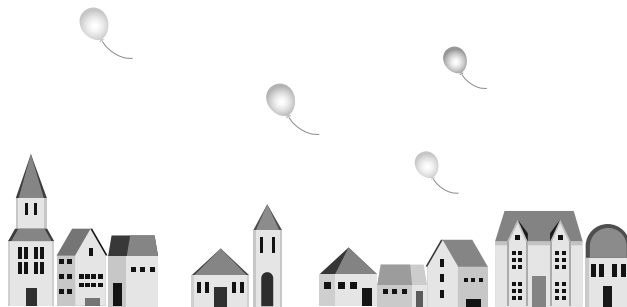
高1・男子

▽私と母が車に乗っている時の出来事です。信号のない横断歩道がありました。そこをまだ新しくきれいなランドセルを背負った小1の男の子が4〜5人で下校していました。すると一番先頭の男の子が「走れー！」と言ってあとの2〜3人が走って渡りました。最後の一人の男の子は走って渡った後にペコッとおじぎをして前の子についていきました。歩行者が優先だから止まってあげるのは当たり前だけど、ちゃんとお礼をしてくれたから、とつてもうれしかったです。逆の立場になつてもお礼を大切にしたいと思いました。

高1・女子

▽部活の帰り、自転車で信号のない横断歩道を渡ろうとしていたけれど、車がたくさん走っていて渡れなかった。このまま待っていてもこの横断歩道を渡るタイミングは来ないと思ったので、信号のある横断歩道に行こうと思つた時、初心者マークをつけた車が止まってくれた。その初心者マークをつけた車の後ろには、まだ車が止まっていたから、僕は急いで渡つたため、その車にはおじぎしかできず、その人の顔は見られなかった。僕は、その人のおかげで遠い横断歩道まで歩かずに渡れた。僕も自分を優先するのではなく、誰かを優先していきたい。

高1・男子







## こんな感想が寄せられました ②



・お話を読ませていただいて、本当に心が温かくなりました。日常忙しくて、大切なことも流してしまうので、これからは立ち止まり、感じる心を大切にしたいです。

**学校の先生**

・中日新聞の記事を見ました。いい話だったので、勉強のために他の話も読みたいです。 **可児市の民生児童委員**

・子どもの話を読んで「子どもの目線ってこんなところに向いているのか。」と気づきました。 **保護観察所職員**

・どの話も良く、特に一般の方の話は、人生の深みを感じて心に響きました。 **30代男性**

▽瑞浪市がロケ地となった映画「四十九日のレシピ」が全国の劇場で公開された。山や川に囲まれた豊かな自然が物語の一つのテーマとなっている。瑞浪市の美しい風景がたくさん映っていて嬉しい。改めて思うが瑞浪市が大好きだ。また、瑞浪市に住んでいることが幸せだ。

鹿兒島にいる母親へ是非見て欲しいと電話をした。瑞浪市をアピールするものがなかなかない中で、母親に瑞浪市を伝えられることが嬉しい。今なら母親にこの町に住めてよかったと自信を持っていえる。

物語は、多くの場面が主人公の地元で展開される。主人公の父親は、嫁ぎ先から帰ってきた主人公を不器用ながらも温かく迎え入れる。やがて、再び主人公が地元を旅立つときには、惜しめないエールを送った。

人には、落ち込んだとき、優しく迎え入れて元気をくれる存在が必要だと思う。羽を休めることも必要だ。私にとって、地元の鹿兒島はそういう存在だ。主人公と重なる部分もあり、母親のあの時の優しさを感じて感謝の思いに涙が出た。

主人公の折れた心が立ち直る舞台として瑞浪市が選ばれた。瑞浪市の雰囲気や安心感を感じる人は多いようだ。多くの人にこの映画を見て欲しい。

20代・男性



▽この間、野球のナイターの試合がありました。

しかし、私には野球の経験が全くないです。たまに友達と野球の練習をしていて、それが楽しくて「いつの日か試合に出られたらヒットを打ちたい。」と思いつつ、未経験なので試合に出られず悔しい気持ちが4年間続きました。

しかし、人数が足りないことから助っ人を頼まれ、試合に出られることになりました。私はこれまで野球を教えてくれた友達のアドバイスを全て思い出しながらバットを振ったら、ヒットが出て、しかも二塁打になりました。渾身のガッツポーズをしました。友達のアドバイスのおかげです。ベンチに戻った後、友達と喜び合いました。

だけど照れくさくてその時言えなかった言葉があつて、この場を借りて言いたい。私に野球を教えてくれてありがとう。

20代・男性

▽「チイツ、チイツ、チイツ」の声で目が覚める。屋根の上で朝早いすずめが鳴いているのか？いやどうも違う。枕元にいる。そつと外へ出してやるが、飛ばない。子すずめで飛べないのか？ただ鳴いている。しばらく見ていると入れ替わり仲間がやって来て、何やら話しかけている。きっと励ましているのだろう。

「仲間っていいな！ 友達っていいな！」

60代・男性



▽介護施設で宿直中の事です。20代前半くらいの女性が入居者様への物品を届けに来て下さいました。ここまでは、よくある事です。女性は帰り際に、「5段くらいの脚立はありますか。」と聞かれました。脚立だけでもめずらしいのに、5段くらいと高さも指定。何事だろうかと思いましたが。

初めての事でお話を伺うと、ツバメのヒナが巣から落ちてしまったとの事。施設にもツバメの巣があり、近所かと思っていました。女性は「ここから少し遠いので。必ず返しに來ます。」と脚立を持って行かれました。20分くらいで脚立を返却に來られました。ツバメのヒナを巣に戻せたとの事。「すつきりしました。」と、まさにその通りのすつきりとした表情の女性。なんだか僕の持っていない表情だな…と、はっとしました。帰っていく女性のユニホームの袖には、別の介護施設の名前がありました。大きな課題をもらってしまいました。

### 30代・男性

▽小学校4年生になる息子の話です。母の私が夜出かけなくてはならなくなって「おじいちゃん」と留守番してね。」と伝えた時、「ママ、車を気を付けてね。外は暗いから足元にも気を付けてね。あと知らない人にも気を付けてね。さらわれたりするといけないから。いつてらっしゃい。」と息子に心配されました。普段、私たち親が子どもに対して毎日している心配を、子どもが私に対して言ったことにとっても胸が熱くなり、嬉しく思いました。

### 30代・女性



▽トルコ共和国イスタンブールのカパル・チャルシュ（屋根付きの巨大市場）での出来事です。ここはトルコ中のあらゆる産物が並ぶ、活気あふれるバザールです。ある店を通りすぎた時、右後方から「落ちたよ！落ちたよ！」と男の声がしたので、振り返って見ると店の中から、3、4人の若者だった。早速、足元を確認したが何も落ちていない。からかわれたのかと判断し、歩き始めたら、又「落ちたよ！落ちたよ！」の声、気味が悪くなり、その場を早々に立ち去りました。

ところが、昨年ある雑誌で「心のもやもや」が一挙に晴れました。それは、作家童門冬二氏の娘さんがトルコへ旅行された時のエピソードで、現地の男性トルコ人ガイドが急に「皆さん、落ちていますよ。」と言いだしたそうです。何が落ちているのかと下を見たら、そのガイド曰く、「僕の真心が落ちています。」と。女性観光客のグループだったので、気を引こうとしての言葉で、※エスプリを感じる、何とも心憎い台詞です、とありました。

親日家の多いトルコと日本は歴史的に強い絆があり、124年前の1890年9月16日、和歌山県串本町沖の大島の檜野崎で、トルコの木造軍艦エルトゥールル号が台風に襲われ、沈没した事件まで遡ることになります。このことは、トルコの小学5年生の社会科の教科書に掲載されているとのこと。エルトゥールル号に関する映画が日本とトルコの間で進められているとのことです、今から楽しみです。

## 60代・男性

※その場に即応して気の利いたことを言える才気。機知。

▽Yちゃん（当時6才）とKくん（当時2才）のお話です。YちゃんとKくんは、パパと家でお留守番をしていて、ママの帰りを首を長くして待っていました。ようやくママが帰ってきたので、嬉しくてお出迎えに駆け出しました。その時です。2人の足がぶつかって、お庭のコンクリートの階段から転げ落ちてしまいました。大慌てでママが2人を助けると、Yちゃんが目の下に傷を負って血が出ていました。KくんはYちゃんを守る形で転んだので、無傷でした。

病院で治療をして数日が経ちました。ママが「Yちゃんの顔に傷跡が残らないといいね。早く治るといいね。」と言いました。Yちゃんは、「この傷は、Kくんと私の『きずな』のしるしだよ。」と言いました。ママもパパもその意外な言葉に、感動してしまいました。「とんび」が「たか」を産んでしまった、と。パパは思いました。

30代・男性

▽ある日の分団登校で、とても心温まる子ども達の姿が見られました。

朝の分団登校中に、突然雨が降ってきました。子ども達が家を出たときには天気がよかったため、多くの子ども達は傘を持っていませんでした。それでも、天気予報を見ていた高学年は傘を準備していました。下学年の子達が雨に濡れているのを見た6年生は、下学年の子達に自分の傘を渡し、自分は濡れて学校へ登校しました。高学年の下学年の子を思う気持ちがよく表れている出来事だと感じました。

60代・男性

▽出勤したある朝のことです。

私が席に座ると、普段は明るく元気な上司が神妙な面持ちで「〇〇さん、私はいつも夢を見ないけど、昨夜は、あなたの具合が悪くなって私がおんぶをして病院に連れていく夢を見たの。本当になるといけないから、今日はズボンを履いてきたわ。もし気分が悪くなったら遠慮しないでいつでも言ってね。」と話してくれました。どこも具合が悪くない私でしたが、その後「大丈夫？元氣？」と私の身体を気にかけてくださいました。

夢なのか？現実なのか？思いもよらない言葉にびっくりしましたが、とても嬉しい思いをした出来事でした。

気遣いが出来る人ってすばらしいですね。ありがとうございます。

#### 40代・女性

▽介護施設で働いています。一ヶ月程前から毎日利用者様に朝、挨拶をしています。初めはお辞儀だけの方もたくさんいらっしゃいましたが、最近だんだん目を見て「おはよう。」と返していただけるようになりました。普段、挨拶にあまり意識を向けていませんでしたが、この朝の挨拶を始めてから、改めて挨拶の大切さを感じました。笑顔で返していただけただけの時は、本当に嬉しいです。これからも続けていきたいと思っています。

#### 20代・女性



▽「いつてらっしゃい。気をつけて！」と送り出す。いつも決まって「いつてきます。」と出かけるのに、この日「すまんねえ、遊びに行くのにも見送ってくれて。ありがとう！いつてきます。」と夫はお楽しみのゴルフに出かけていきました。「ありがとう。」の声に一日いい気持ちでした。私も「ありがとう。」「ありがとうございます。」を声に出して言いたいと思っています。

## 60代・女性

▽「君、ここにお座りなさい。」突然、立っていた私に70代であろう男性が声をかけて下さいました。それは私がまだ学生だった頃の電車の中での出来事です。「いえ…そんな…」しどろもどろしている私に男性は「いや大事な体だから。」と。さあ、そうしたら70代の方が席を立ったものからです、そのボックスに座っていた他3名の方が「僕が立ちます。」「どうぞ私が…」と大変な騒ぎとなりました。結局若い…といっても私と同じくらいの男性が席を譲って下さることになったのです。私は最初に声をかけて下さった男性の前に小さくなって座りました。『妊婦と思ってみえるんだ。』私はふんわりした服を着ていただけなんです。(ちよっぴり太っていたのかも?) 私はこの方々の親切に「妊婦ではありません。」と言う事が出来ず、心の中で『どうか知り合いが見ていませんように。』と祈るばかりでした。それと同時に『世間って、そんなに捨てたものじゃない。』と言う言葉が浮かんできたのです。嬉しいような恥ずかしいような忘れられない思い出です。

## 50代・女性

▽先日、あるおばあさんとお話をした時の事です。そのおばあさんは娘の嫁ぎ先へ数日滞在して、お孫さんと楽しい時間を過ごされました。久しぶりに会ったら、言葉の増えた事、出来ることも多くなった事等、新たな驚きで一杯だったそうです。この時一番に感動した事は、お孫さんが小さなアイスを食べる時に「おばあちゃんどうぞ。」と小粒のアイスを分けてくれた事で、2歳で欲張って食べたい盛りの子どものなにおばあさんに分けてくれたそうです。「うちの孫はすごいでしょ。」としきりにお孫さんの優しさを強調されました。それを聞いた私達は「あなたの娘さん、上手に子育てしてみえるね。」と話し、お孫さんをこの様に育て上げた娘さんやその家族の関わり方の素晴らしさを褒めたのです。

お孫さんの姿を通して、その背景にある母親の心優しい子育てに、また、母親の子育てを支援するご家族に、祖母として孫の優しい行為に「嬉しかった。」「感激した。」と素直に気持ちを伝えてほしいと促しました。

60代・女性

▽今年の5月の母の日に息子（30才）にお願いしました。息子は大学卒業後、名古屋で一人住まいをして働いています。盆と正月の年に2回しか家には戻ってきません。その息子に母の日に「お母さんありがとう。」と電話をして欲しいと頼みました。そうしたら、ちゃんと家内に電話をしてくれました。おやじとしてちょっとほっとしました。

50代・男性

▽ある高校の文化祭の企画で、出産時の母親と赤ちゃんの表情を捉えた写真家の松永ちえみさんの『いのちをありがとう』写真展が開かれ、「自由に感じたことをお書きください。」とノートが置いてありました。その中に学生さんが「今まで親の言うことを聞かなかったけど、これからは親の言うことを聞こうと思う。」と書かれていました。写真が感動をこえて人の心まで変えてしまうってすごいなと思いました。

60代・女性

▽姑は数年前、高齢で亡くなりましたが、亡くなるまで家で過ごせた幸せにいつも感謝しておりました。嫁の私が買い物とか掃除、病院通い等々、やってあげると、「やってもらって当たり前」と思うのが常ですが、必ず「ありがとう。」という言葉を私に返してくれました。私はいつも気持ちが良いくなり、私も年をとったら「ありがとう。」という感謝の言葉を忘れないようにしたいと思います。

女性

▽小学校の帰りの時間に合わせ、ゴミを拾いながらパトロールをしている更生保護女性の会の私たち。可愛い子どもたちが「ゴミ拾いのおばさん、ありがとう。がんばってね。」と声を掛けてくれることが時々あり、まあなんていい子だろうと心もホッとうれしくなり、益々がんばろうと元気をもらっています。

60代・女性

▽K病院で20年ぶりに、私が縁結びをしたB子さんに会うことができました。B子さんは母親の助言で看護助手の資格を取り、K病院で週2回のアルバイトで勤務していました。B子さんの夫は定年前に相談することもなく退職し、事業を始めたのですが、失敗に終わり、多額の借金が残り、後は墮落の一途。B子さんは義母の介護をしながら一男一女の子育ての途中で、離婚を考えたとありますが、長女の「お父さんが可哀相。」の一言で思いとどまったそうです。

現在は借金を完済し、同居の長男夫婦の孫に囲まれ「今は幸せです。」と嬉しそうに話してくれました。長い人生、山あり谷ありと言いますが、それがこの世のルールかもしれないね。B子さん頑張ったネ。これからはたくさん幸せになってくださいネ。

## 60代・女性

▽月曜日の朝、小学校の門のところで挨拶運動に参加して「おはようございます。元気で行ってらっしゃい。」と声をかけていました。その中の5年生くらいの子どもさんが「おばさん何才？」と言ってくれました。「いくつに見えるかな？」と尋ねました。「65才くらいじゃなあい？」と言ってくれました。若く見られて嬉しかったことと、あまりの可愛さに思わず手を差し出し握手してしまいました。「ありがとう。」とお礼を言い、「どうして65才に見えたの？」と聞いたら、「うちのおばあちゃんが65才だから。」とむじやきに答えてくれました。私は子どもが大好きです。優しくて素直な子どもたちが将来幸せになって下さるよう祈らずにはいられませんでした。元気な限り声かけを続けたいと思います。

## 80代・女性

▽裏山に昔から、氏神様が祭られています。毎月1日と15日はお酒、お水、それにお塩をお供えしています。我が家では、代々、祖母から母、そして母亡きあととは私が「あつ、今日は1日か。もう15日か。」と仕事として、事務的にお供えをしてお参りしていました。ところが、近頃、二礼二拍手一札と手を合わせた後、心が洗われ、すつきりしていることに気が付きました。何か自分の気持ちまで幸福になれるような、氏神様と心が一つになったような気がします。我が家を見守って下さる氏神様に心から「ありがとうございます。」と感謝できるようになりました。数え年で70才になった私は、気力、体力共、つくづく年やなあと思うことばかり。この年になって自分が一回り大きくなって変わりつつあるのかなあと思う毎日です。

**60代・女性**

▽ずいぶん前、友達と名古屋に出かけ、電車の中で、若い女性(学生くらい)の前に立ちました。すると、とっさに立ち上がり席をゆずってくれました。自分ではまだまだ元気のものでも若い人から見たら、老女です。当たり前です。自分も小さい頃、40才〜50才の方はおじさん、おばさん、60才はおじいさん、おばあさんでした。ありがたくゆつくりと座り名古屋まで本当に楽しんでました。とっても嬉しい一日でした。

**60代・女性**

▽仕事中に、重い荷物を運んでいたら、同僚がドアを開けてくれました。とても嬉しかったです。

**20代・女性**



▽瑞浪高校へ娘を送っていく途中、野球部員が立ち止まり、深々と頭を下げ、とても礼儀正しく感動しました。これが学校全体にとって、また社会へ出た際に、とても役立つものだと思います。野球部全体のチームとしての心得、また、先生の指導もすばらしいと感じております。

40代・女性

▽先日マンシヨンの玄関で、「開きづらくなつたね。」などと住人から声をかけられた。「そうですね。」などと答えながら、郵便ポストから郵便物を取り出して玄関を開けると、マンシヨンのエレベーターのドアを開けたまま、その方が私が乗るのを待っていてくれた。ありがたかった。少しの時間かもしれないけれど、待っていてくれたということに思いやりを感じ、嬉しく思った。

50代・女性

▽三年前に結婚し離れて暮らしている長男夫婦が、一泊二日の旅行に私と主人を鳥羽へ連れて行ってくれました。わざわざ家まで一時間以上かけて送迎してくれ、目一杯の観光と精一杯お金を掛けて良いホテルに泊めてくれました。おいしい料理と長男夫婦の思いやりが嬉しかったです。お金を渡そうとすると「勉強中の次男に使えば良い。」と言ってくれ、頼もしく思いました。

60代・女性



▽学校で、一学期最後を締めくくる大掃除があった。4人の男子生徒がいつも通り丁寧に来客用のトイレ掃除をしてくれた。これからの長い夏休みに備え、トイレトペーパーを補充し、便器も床もブラシをしっかりとかけてくれた。古いトイレながらも清潔感があふれた。仕上げにパイプ詰まり用の溶液まで流しにくれて、完璧だ。

最後に集合し、一学期の掃除に対して「ありがとう。」の言葉を添えると、生徒の一人が「来学期もお世話になります。」と返してきた。たいていは、恩着せがましかったり、やらされた感のある言葉が聞こえたり、無表情で関心なさそうな態度だったりするものだ。

「お世話になります。」の言葉は、今時の高校生の口から死に絶えたものと思っただけに心地よかった。この言葉が自然に出てくる生徒がいたことに驚くとともに、そんな生徒との出会いに感謝した。これからもこのような言葉が交わされる学校にしていきたいと思った。

60代・男性

▽名古屋で新幹線を降り、地下鉄に乗ろうとしたところ、降りる場所を間違えたので、南改札口へ行ったら、もうひとつ下へ降りないと地下鉄に乗れないことがわかりました。改札の人にエレベーターの場所を尋ねたら、随分遠回りで大変だから、と窓口に鍵をかけ、重いバックを持って運んでくれました。すぐ疲れていたので本当に助かりました。呼び出しベルで走っていかれましたが、私の心は感謝でいっぱいでした。

60代・女性

▽妻が一人の時に作った食事を目にしたことがある。いたって質素で、品数も少ない。一人で食べる食事は彩りもどうでもいいようだ。人の目を気にすることはない。ところが、家族が一人でも加わるとどうなるだろうか。別段、高級料理に早変わりするわけではないが、夕食に妻の思いが込められる。家族と共に食べる料理は、食卓が狭く感じるほど、品数が増え、見た目も鮮やかだ。新しいメニューが時に登場したりもする。

家族との食事では、妻は不思議な力を發揮する。加えて隣町に住んでいる息子夫婦が孫を連れて来たりすると一段と熱が入り、腕によりを掛ける。その不思議な力は、「自分のため」から「家族のため」がどうやらキーワードのようである。人への思いやりが食卓を上質に変えるのだ。しかし、不思議なことに、妻はこのことを全く意識していないようだ。妻にとっては全てが当たり前、当然の行為であるようだ。かつこよく言えば、これは家族への無償の愛であり、毎日が立派な心の修行だったのだ。妻はこの修行を31年も繰り返していたのに、私はそれに気づくのに31年かかってしまった。妻に頭が上がるはずがない。

60代・男性



▽6月の午後1時のことであった。※**適応指導教室**に通所していたA子が、修学旅行のおみやげを持って、近況報告に明るい表情で訪れた。彼女は中学時代、人間関係や学習などで悩み、学校に登校できなくなり、適応指導教室に通うようになった。通所当初はなかなかなじめず、ふさぎ気味であり、休みがちであったが、時がたつにつれ、適応指導教室の仲間や職員にも打ち解け、自分から話せるようになってきた。学習にはなかなか気が向かず、すぐにあきてしまうところはあったが、毎日登校し、高校に進学した。それ以来、2年ぶりの再会である。おみやげを開きながら、旅行のこと、学校のことを楽しそうに話してくれた。あんなに学校を避けていた彼女が「今は休まず登校できていて、学習することが楽しい。学校で仲間と話すのが楽しい。卒業したら、大学に行き、保育士になりたい。」と明るく話してくれた。彼女を見ていて、彼女の不登校時代の経験は無駄ではなかったと感じ、成長した姿を見て嬉しくなった。

## 60代・女性

※不登校の小中学生が学校復帰できるよう援助する施設



▽14才の誕生日にプレゼントされたバスケットシューズを履いての練習中、「ポキポキ」と無気味な音とともに倒れこみ、周りの人を驚かせた中二の孫。左足首の負傷で全治一カ月の診断で、ギブスを固定され、松葉杖の生活です。学校に連絡をして、教頭先生に今後のことをお願いしました。翌朝に電話で担任から「学校生活に支障のない様にいたしますので、安心して送り出して下さい。」と温かい言葉をいただきました。自己責任で本人と家族の二人三脚の辛い闘いになることを覚悟していましたので、ほっとしました。14才の春なので、回復も早く、せつかな孫は体力をもてあまし、無理をします。主治医をはじめ、周りの人から「二週間を辛抱するのか、一生をダメにするのか、分かれ道になるので、絶対安静にすること。焦るな、じっくりと治せ。」と注意されるものの、見えないところでトレーニングする孫。四十五日目に主治医からOKのサインが出され、ガッツポーズで喜んだ孫。立派なアスリートに育つことを応援します。

### 60代・女性

▽試合で松本へ行ったとき、市内で祭りがあり、駐車場へ行くにもなかなか大変でした。ナビも機能せず、困って道で飲み物などを販売していた男性に駐車場までの場所を尋ねたところ、店をそのままにして、私の車の前に出て、急に走りだし、細い道を通りながら誘導してくれました。ずいぶん距離があったのに……。おかげで助かり、後でお礼を言いに訪ねたら、笑顔がとてもさわやかでした。

### 60代・女性

郵便はがき

郵便切手を貼って下さい。

5 0 9 6 1 9 5

瑞浪市上平町 1 丁目 1 番地  
瑞浪市役所 生活安全課

『ちょっといい話』係 行き

×キリトリ

お名前：	( ) 歳	男・女
ご住所：〒		
電話番号：		
『ちょっといい話』の	感想・応募	(どちらかに○)
通信欄：		

×キリトリ

### 読者のみなさまへ

このたびは『ちょっといい話4』を読んでくださって、ありがとうございます。上のはがきをご利用のうえ、ぜひ、ご感想をお聞かせください。また、みなさまからの『ちょっといい話』のご応募もお待ちしております。

✕キリトリ

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

ありがとうございました。

✕キリトリ

# ちよつといい話 4

平成 27 年 2 月発行

瑞浪市・瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議  
(瑞浪市役所 まちづくり推進部 生活安全課)

〒 509-6195 瑞浪市上平町 1-1  
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-8749  
<http://www.city.mizunami.gifu.jp/>

この冊子は岐阜県からの助成を受けています。